

令和7年(2025年)
全国災害時気象概況

令和8年9月

気 象 庁

—— 目 次 ——

1 令和7年(2025年)の気象災害	1
1-1 気象の特徴	1
1-2 主な気象災害	2
資料1-2-1 主な気象災害に対応する気象資料	12
資料1-2-2 令和7年(2025年)に発生した主な竜巻等の突風	27
2 令和7年(2025年) 台風の概要.....	28
2-1 令和7年(2025年)に発生した台風.....	28
資料2-1-1 台風発生数一覧表	29
資料2-1-2 日本への台風接近数一覧表	30
資料2-1-3 北海道・本州・四国・九州への台風接近数一覧表	31
資料2-1-4 日本への台風上陸数一覧表	32
資料2-1-5 令和7年(2025年)に発生した台風の一覧表.....	33
2-2 令和7年(2025年)に日本に影響した主な台風.....	34
資料2-2-1 令和7年(2025年)に日本に影響した台風の概要表	37
資料2-2-2 令和7年(2025年)に発生した台風の経路図.....	38

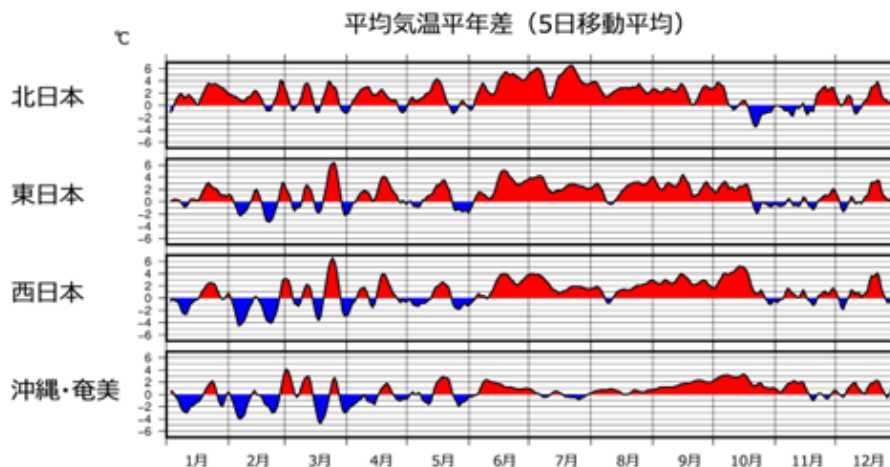
本資料は、人的被害や社会活動に大きな影響のあった主な気象災害の概況や台風などについて、気象庁大気海洋部において取りまとめたものである。

1 令和 7 年(2025 年)の気象災害

1-1 気象の特徴

○ 年平均気温は北・東・西日本でかなり高かった

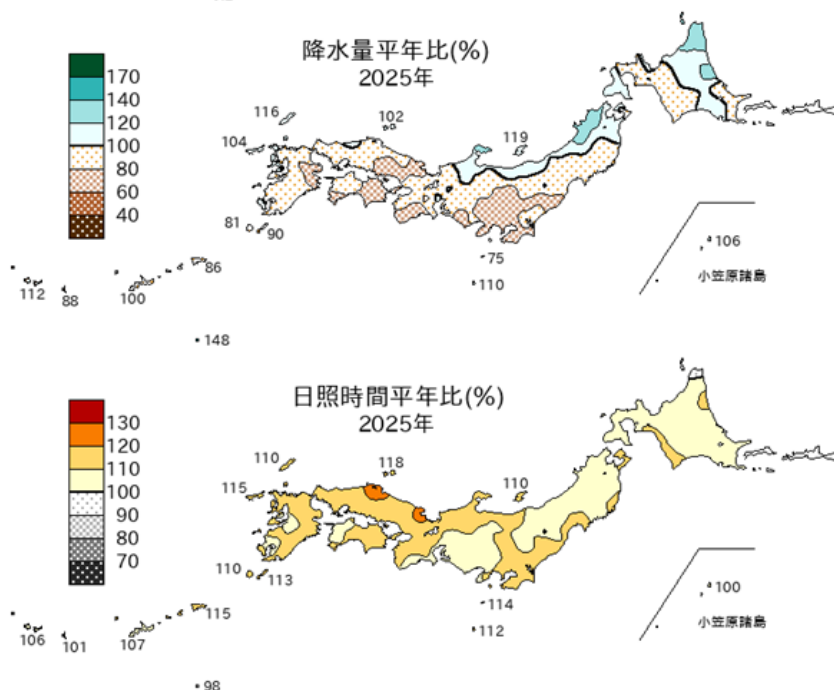
北日本を中心に暖かい空気に覆われやすかったため、年平均気温は北・東・西日本でかなり高かった。北・東・西日本では夏の平均気温がそれぞれ 1 位の高温となり、全国 153 の気象台等のうち 132 地点(9 地点のタイ記録を含む)で、夏の平均気温が 1 位の高温となった。



平均気温平年差 (5 日移動平均)、2025 年

○ 年間日照時間は北・東・西日本太平洋側、東・西日本日本海側、沖縄・奄美はかなりの多照で、西日本を中心に記録的な多照、年降水量は東日本太平洋側でかなりの少雨となった。

全国的に高気圧に覆われやすく晴れた日が多かったため、年間日照時間は北・東・西日本太平洋側、東・西日本日本海側、沖縄・奄美でかなり多く、特に西日本太平洋側では年間日照時間が 1 位の多照となった。東日本太平洋側では冬と夏から秋に低気圧や前線の影響を受けにくかったため、年降水量はかなり少なかった。



降水量と日照時間の平年比、2025 年

1-2 主な気象災害

ここでは、令和 7 年(2025 年)に発生し、人的被害や社会活動に大きな影響があった主な気象災害の概況について、おおむね発生日順に災害番号(括弧内番号)を付けて記述する。また、災害番号に続けて、災害期日:地域、()内に災害の種別、< >内に気圧配置等の気象状況を記す。主な気象災害の一覧を表 1.1 に示す。

なお、被害の具体的な数値は、以下の情報を参考に記載した。

- ・内閣府、総務省消防庁、国土交通省による被害状況のとりまとめ資料
- ・国や都道府県の防災機関等から被害状況入手し、気象庁でとりまとめた資料
- ・気象庁が行った突風の被害状況等調査報告

表 1.1 主な気象災害の一覧表

災害番号	災害をもたらした現象の期日	地域	災害の種別	気象状況
(1)	1 月 8 日～1 月 10 日	北日本 東日本 西日本	大雪、暴風雪、 高波	冬型の気圧配置、低気圧
(2)	2 月 3 日～2 月 9 日	北日本 東日本 西日本	大雪、暴風雪、 高波	冬型の気圧配置、低気圧
(3)	7 月 14 日～7 月 18 日	全国	大雨、暴風、高 波、高潮	台風第 5 号、大気不安定
(4)	8 月 6 日～8 月 12 日	九州	大雨	低気圧、前線
(5)	9 月 2 日～9 月 5 日	東日本	大雨、暴風、高 波、突風	前線、台風第 15 号
(6)	10 月 8 日～10 月 13 日	関東甲信	大雨、暴風、高 波、高潮	台風第 22 号、台風第 23 号

(1)1 月 8 日～1 月 10 日:北日本、東日本、西日本(大雪、暴風雪、高波)<冬型の気圧配置、低気圧>

1 月 8 日から 10 日にかけて、強い寒気が流れ込み、日本付近は強い冬型の気圧配置が続いた。北日本から西日本にかけての日本海側では山地を中心に大雪となった。福島県、福井県、岐阜県では、72 時間の降雪量が 100 センチを超えた所があり、普段雪の少ない西日本の太平洋側でも大雪となった所があった。このほか、発達した低気圧の影響で全国的に風が強まり、北日本や北陸地方では非常に強い風を観測した所があつて、海上では大しけとなった所があった。

この大雪等により、北日本から西日本の日本海側を中心に、死者 4 名等の人的被害が発生したほか、停電等のライフラインへの被害が発生した。また、鉄道の運休、道路の通行止め、航空機・船舶の欠航等の交通障害が発生した。(令和 7 年 1 月 10 日の内閣府とりまとめ等による)

[日降雪量 50 センチ以上を観測した主な地点]

1 月 8 日 岐阜県飛騨市河合(カワイ)

52 センチ

	新潟県魚沼市守門(スモン)	52	センチ
1 月 9 日	広島県山県郡北広島町八幡(ヤワタ)	60	センチ
1 月 10 日	群馬県利根郡みなかみ町藤原(フジワラ)	69	センチ

[最大風速 20 メートル以上を観測した地点]

1 月 8 日	北海道幌泉郡えりも町えりも岬(エリモサキ)	23.7	メートル
1 月 9 日	北海道幌泉郡えりも町えりも岬(エリモサキ)	23.6	メートル
	新潟県新潟市東区松浜(マツハマ)	22.3	メートル
1 月 10 日	山形県酒田市飛島(トビシマ)	21.6	メートル
	北海道宗谷郡猿払村浜鬼志別(ハマオニシベツ)	20.4	メートル

(2)2月3日～2月9日:北日本、東日本、西日本(大雪、暴風雪、高波)＜冬型の気圧配置、低気圧＞

2 月 3 日から 2 月 9 日にかけて、この冬一番の強い寒気が流れ込んで強い冬型の気圧配置が続いた。低気圧や強い冬型の気圧配置の影響で、北日本から西日本の日本海側を中心に広い範囲で大雪や暴風雪・暴風となった。3 日から 9 日にかけての総降雪量は東北地方南部から北陸地方を中心に多い所で 150 センチを超え、釧路地方、十勝地方、福島県、新潟県では積雪の深さが観測史上 1 位の値を更新した地点があるなど、本州の日本海側や北海道地方では記録的な大雪となった。4 日午前中には北海道地方の太平洋側で 12 時間の降雪量が 100 センチを超えた所があり、7 日夜には北陸地方で顕著な降雪により短時間に積雪が急激に増えた所があった。また、普段雪の少ない九州や四国地方、中国地方の瀬戸内海側、近畿地方の太平洋側、東海・甲信地方でも積雪となった所があった。また、北日本から西日本では非常に強い風が吹いた所があつて、日本海側では広い範囲で大しけとなった。

この大雪等により、北日本から西日本の日本海側を中心に、死者 12 名等の人的被害が発生したほか、停電等のライフラインへの被害が発生した。また、鉄道の運休、道路の通行止め、航空機・船舶の欠航等の交通障害が発生した。(被害の状況は令和 7 年 2 月 12 日の内閣府とりまとめ等による)

[日降雪量 50 センチ以上を観測した主な地点]

2 月 4 日	北海道帯広市帯広(オビヒロ)	104	センチ
	新潟県上越市安塚(ヤスヅカ)	88	センチ
	岐阜県大野郡白川村白川(シラカワ)	64	センチ
	石川県白山市白山河内(ハクサンカワチ)	64	センチ
	福井県大野市九頭竜(クスリユウ)	55	センチ
	富山県砺波市砺波(トナミ)	52	センチ
2 月 5 日	福島県大沼郡金山町金山(カネヤマ)	65	センチ
	岐阜県大野郡白川村白川(シラカワ)	61	センチ
	富山県富山市猪谷(イノタニ)	54	センチ
	兵庫県美方郡香美町兎和野高原(ウツノコウゲン)	53	センチ
	北海道余市郡赤井川村赤井川(アカイガワ)	50	センチ
2 月 7 日	新潟県新潟市中央区新潟(ニイガタ)	56	センチ
2 月 8 日	群馬県吾妻郡草津町草津(クサツ)	59	センチ

[最大風速 20 メートル以上を観測した地点]

2 月 3 日	山形県酒田市飛島(トビシマ)	20.3	メートル
2 月 4 日	北海道奥尻郡奥尻町奥尻(オクシリ)	24.9	メートル
	山形県酒田市飛島(トビシマ)	21.0	メートル
	鹿児島県西之表市種子島(タネガシマ)	20.1	メートル
2 月 5 日	北海道幌泉郡えりも町えりも岬(エリモサキ)	26.5	メートル
	山形県酒田市飛島(トビシマ)	23.7	メートル
	新潟県佐渡市相川(アイカワ)	20.3	メートル
2 月 6 日	北海道幌泉郡えりも町えりも岬(エリモサキ)	25.5	メートル
	山形県酒田市飛島(トビシマ)	22.4	メートル
	新潟県佐渡市相川(アイカワ)	20.3	メートル
2 月 7 日	鹿児島県西之表市種子島(タネガシマ)	22.7	メートル
	山形県酒田市飛島(トビシマ)	22.6	メートル
	北海道幌泉郡えりも町えりも岬(エリモサキ)	22.0	メートル
	石川県羽咋市羽咋(ハクイ)	20.5	メートル
	大阪府泉南郡田尻町閑空島(カンクウジマ)	20.1	メートル
	鳥取県鳥取市湖山(コヤマ)	20.0	メートル
2 月 8 日	山形県酒田市飛島(トビシマ)	20.8	メートル

(3) 7 月 14 日～7 月 18 日:全国(大雨、暴風、高波、高潮)＜台風第 5 号、大気不安定＞

7 月 13 日 03 時に小笠原諸島近海で発生した台風第 5 号は日本の東の海上を北上し、15 日 02 時頃に北海道えりも町付近に上陸し、その後オホーツク海へと進み温帯低気圧に変わった。また、熱帯低気圧が東シナ海から西日本に進んだことや、日本海に低気圧があったことなどにより、全国的に暖かく湿った空気が流れ込んだ。

これらの影響で、7 月 17 日には、沖縄地方で 1 時間降水量の観測史上 1 位の値を更新した所や、近畿地方で 3 時間降水量の観測史上 1 位の値を更新した所があった。また、北日本から東日本の太平洋側では暴風となった所があり、海上は大しけとなった。さらに近畿地方を中心に、東日本から西日本の日本海側の広い範囲で、潮位が高くなった。

この大雨により、東日本から西日本において、大雨による土砂災害や浸水害等が発生した。また、航空機の欠航や鉄道の運休等の交通障害が発生した。(被害の状況は令和 7 年 7 月 18 日の国土交通省とりまとめ等による)

[日降水量 100 ミリ以上を観測した主な地点]

7 月 14 日	高知県吾川郡いの町本川(ホンガワ)	221.0	ミリ
	愛媛県四国中央市富郷(トミサト)	137.5	ミリ
	三重県度会郡大紀町藤坂峠(フジサカトウゲ)	132.5	ミリ
	徳島県勝浦郡上勝町福原旭(フクハラアサヒ)	126.0	ミリ
	島根県浜田市浜田(ハマダ)	121.5	ミリ
	静岡県静岡市葵区有東木(ウトウギ)	119.0	ミリ
	大分県佐伯市蒲江(カマエ)	108.0	ミリ

7月15日	静岡県静岡市葵区井川(イカリ)	243.5	ミリ
	愛知県新城市作手(ツクテ)	152.5	ミリ
	栃木県日光市奥日光(日光)(オクニッコウ(ニッコウ))	147.5	ミリ
	山梨県南巨摩郡南部町南部(ナンブ)	134.5	ミリ
	岐阜県中津川市付知(ツケチ)	128.5	ミリ
	長野県木曽郡王滝村御嶽山(オンタケサン)	125.0	ミリ
7月16日	三重県北牟婁郡紀北町紀伊長島(キイガシマ)	188.0	ミリ
	静岡県静岡市駿河区静岡(シズオカ)	128.5	ミリ
7月17日	高知県吾川郡いの町本川(ホンガワ)	289.5	ミリ
	岐阜県本巣市樽見(タルミ)	259.0	ミリ
	三重県桑名市桑名(クワナ)	203.0	ミリ
	徳島県勝浦郡上勝町福原旭(フクハラアサヒ)	196.0	ミリ
	愛知県愛西市愛西(アイサイ)	185.5	ミリ
	奈良県吉野郡十津川村葛川(クスガワ)	182.5	ミリ
	沖縄県島尻郡北大東村北大東(キタダイトウ)	163.5	ミリ
	和歌山県有田郡湯浅町湯浅(ユアサ)	152.0	ミリ
	鹿児島県熊毛郡南種子町上中(カミナカ)	140.0	ミリ
	鹿児島県熊毛郡屋久島町尾之間(オノアイタ)	140.0	ミリ
	愛媛県南宇和郡愛南町御荘(ミショウ)	105.0	ミリ
	7月18日 長崎県長崎市長浦岳(ナガウラダケ)	195.0	ミリ
	宮崎県東臼杵郡美郷町神門(ミカト)	131.5	ミリ
	高知県長岡郡本山町本山(モトヤマ)	131.0	ミリ
	鹿児島県指宿市指宿(イブスキ)	119.0	ミリ

(4)8月6日～8月12日:九州(大雨)<低気圧、前線>

8月6日から12日にかけて、日本付近に停滞した前線や低気圧に向かって日本の南や東シナ海から暖かく湿った空気が流れ込んで前線の活動が活発となったため、北日本から西日本にかけての広い範囲で大雨となり、九州や北陸地方では線状降水帯が発生するなど、記録的な大雨になった。

6日から12日にかけての総降水量は、熊本県や福岡県で600ミリを超えたほか、その他の九州北部地方、九州南部、北陸地方及び甲信地方でも500ミリを超え、平年の8月の月降水量の3倍以上となった所があった。

この大雨により、北日本から西日本の日本海側および九州を中心に、土砂災害、浸水害等が発生し、人的被害や住家被害が発生した。また、大規模な停電や断水等ライフラインへの被害が発生したほか、航空機の欠航や鉄道の運休等の交通障害が発生した。(被害の状況は令和7年11月14日の消防庁とりまとめ、令和7年8月25日の国土交通省とりまとめ、令和7年8月18日の内閣府のとりまとめ等による)

8月6日から8月7日

8月6日は、前線を伴った低気圧が朝鮮半島から日本海に進み、低気圧からのびる前線が北陸地方や東北地方を北上した。この前線の影響で、北陸地方では日降水量が200ミリを超える大雨となった所があった。7日は、低気圧が千島近海へと進み、低気圧からのびる前線が北日本や東日本を通過して、西日本に停滞した。この影響で、石川県では線状降水帯が発生するなど北陸地方では日降水量が300ミリを超える大雨となり、九州南

部でも日降水量が 200 ミリを超える大雨となった所があった。

[日降水量 100 ミリ以上を観測した主な地点]

8 月 6 日	新潟県佐渡市羽茂(ハモチ)	280.0	ミリ
	山形県西置賜郡小国町小国(オグニ)	147.0	ミリ
	石川県珠洲市珠洲(ス)	119.0	ミリ
8 月 7 日	石川県金沢市金沢(カナザワ)	332.0	ミリ
	鹿児島県霧島市牧之原(マキノハラ)	250.5	ミリ
	富山県砺波市砺波(トナミ)	206.5	ミリ
	宮崎県えびの市えびの高原(エビノコウゲン)	140.5	ミリ
	熊本県上益城郡甲佐町甲佐(コウサ)	133.0	ミリ
	新潟県糸魚川市平岩(ヒライワ)	115.0	ミリ
	島根県浜田市波佐(ハサ)	113.0	ミリ
	青森県西津軽郡鰺ヶ沢町鰺ヶ沢(アジガサワ)	110.0	ミリ
	秋田県北秋田市脇神(ワキガミ)	108.5	ミリ
	長野県北安曇郡小谷村小谷(オタリ)	106.5	ミリ
	長崎県大村市大村(オムラ)	106.5	ミリ

8 月 8 日から 8 月 9 日

8 日から 9 日にかけて、前線が西日本に停滞した。この前線に向かって日本の南や東シナ海から暖かく湿った空気が流れ込んだため、8 日は、鹿児島県で線状降水帯が発生するなど九州南部では日降水量が 300 ミリを超える大雨となり、東北地方、北陸地方及び九州北部地方でも 100 ミリを超える大雨となった。9 日は、福岡県で線状降水帯が発生するなど九州北部地方では日降水量が 150 ミリを超える大雨となった所があった。

[日降水量 100 ミリ以上を観測した主な地点]

8 月 8 日	鹿児島県霧島市溝辺(ミヅベ)	367.0	ミリ
	秋田県由利本荘市本荘(ホンショウ)	192.5	ミリ
	宮崎県都城市都城(ミヤコショウ)	185.0	ミリ
	新潟県村上市高根(タカネ)	121.0	ミリ
	熊本県天草市牛深(ウシブカ)	109.0	ミリ
8 月 9 日	福岡県福岡市西区小呂島(オロシマ)	166.0	ミリ
	長崎県壱岐市石田(イシタ)	150.0	ミリ
	熊本県上益城郡甲佐町甲佐(コウサ)	145.0	ミリ

8 月 10 日から 8 月 12 日

10 日から 12 日にかけて、前線が東日本から西日本の日本海側を中心に停滞し、前線上の低気圧が次々と日本付近を通過した。この前線や低気圧に向かって日本の南や東シナ海から暖かく湿った空気が流れ込んだため、北日本から西日本にかけて広い範囲で大雨となった。10 日は、九州北部地方の多い所では日降水量が 300 ミリを超え、福岡県、山口県、大分県及び熊本県では線状降水帯が発生したほか、北陸地方、関東甲信地方及び東海地方の多い所で 200 ミリを超える大雨となった。11 日は、九州北部地方の多い所では日降水量が

300 ミリを超え、長崎県及び熊本県では線状降水帯が発生したほか、関東甲信地方及び近畿地方の多い所で 200 ミリを超える大雨となった。12 日は、北陸地方及び中国地方で 100 ミリを超える大雨となった所があった。

[日降水量 100 ミリ以上を観測した主な地点]

8 月 10 日	福岡県北九州市小倉南区東谷(ヒガシタニ)	314.0	ミリ
	熊本県玉名市岱明(タイメイ)	306.0	ミリ
	山口県下関市下関(シモノセキ)	294.5	ミリ
	長崎県壱岐市芦辺(アシヘ)	231.5	ミリ
	神奈川県足柄下郡箱根町箱根(ハコネ)	227.5	ミリ
	石川県珠洲市珠洲(スズ)	216.5	ミリ
	岐阜県下呂市萩原(ハギワラ)	209.5	ミリ
	大分県日田市日田(ヒタ)	209.0	ミリ
	長野県木曽郡王滝村御嶽山(オンタケサン)	208.5	ミリ
	静岡県藤枝市高根山(タカネサン)	178.0	ミリ
	高知県安芸郡馬路村魚梁瀬(ヤナセ)	177.5	ミリ
	島根県松江市鹿島(カシマ)	161.0	ミリ
	佐賀県鳥栖市鳥栖(トス)	150.0	ミリ
	愛媛県西予市宇和(ウワ)	142.0	ミリ
	広島県大竹市大竹(オオタケ)	137.0	ミリ
	鳥取県境港市境(サカイ)	127.5	ミリ
	新潟県佐渡市羽茂(ハモチ)	117.0	ミリ
	和歌山県東牟婁郡那智勝浦町色川(イロカワ)	102.0	ミリ
8 月 11 日	熊本県八代市八代(ヤツシロ)	377.5	ミリ
	長崎県雲仙市雲仙岳(ウンセンダケ)	366.5	ミリ
	長野県木曽郡王滝村御嶽山(オンタケサン)	238.0	ミリ
	和歌山県東牟婁郡那智勝浦町色川(イロカワ)	207.5	ミリ
	静岡県榛原郡川根本町川根本町(カワネホンチョウ)	199.5	ミリ
	福岡県宗像市宗像(ムナカタ)	181.5	ミリ
	岐阜県関市関市板取(セキシイタリ)	177.5	ミリ
	高知県安芸郡馬路村魚梁瀬(ヤナセ)	166.5	ミリ
	山口県岩国市羅漢山(ラカンサン)	145.0	ミリ
	佐賀県鳥栖市鳥栖(トス)	143.0	ミリ
	富山県中新川郡立山町立山芦峯(タテヤマアシクラ)	117.0	ミリ
	島根県鹿足郡吉賀町吉賀(ヨシカ)	108.5	ミリ
	広島県東広島市志和(シワ)	107.0	ミリ
	大分県日田市椿ヶ鼻(ツバキガハナ)	103.0	ミリ
	宮崎県西臼杵郡五ヶ瀬町鞍岡(クラオカ)	102.0	ミリ
8 月 12 日	石川県輪島市輪島(ワジマ)	115.0	ミリ
	富山県黒部市宇奈月(ウナヅキ)	111.5	ミリ
	島根県隠岐郡海士町海士(アマ)	100.0	ミリ

(5)9月2日～9月5日:東日本(大雨、暴風、高波、突風)＜前線、台風第15号＞

9月2日から3日にかけて、低気圧が北日本を通過して、低気圧からのびる前線が東北地方を南下した。低気圧や前線の影響で、東北地方の日本海側と北陸地方で大雨となり、特に秋田県では日降水量が200ミリを超え、平年の9月の月降水量を上回る記録的な大雨になるなど、観測史上1位の値を更新した所があった。

4日03時に奄美大島の東で発生した台風第15号は、北上して4日夜にかけて九州にかなり接近し、5日は進路を東よりに変えて西日本の太平洋側沿岸を進み、5日01時半頃に愛媛県愛南町付近に上陸し、08時過ぎに和歌山県北部に再上陸した。台風は東日本太平洋側沿岸を進み、12時過ぎに愛知県豊橋市付近に再上陸し、14時前に静岡県伊豆半島を通過し、16時半頃に千葉県館山市付近に再上陸した。その後、台風は6日03時に日本の東で温帯低気圧に変わった。

台風が接近・上陸した影響で、4日は九州南部を中心に、5日は西日本から東日本の太平洋側、東北地方の広範囲で大雨となった。特に、4日は宮崎県で、5日は静岡県と神奈川県で線状降水帯が発生し、宮崎県では日降水量が450ミリを超え、平年の9月の月降水量を上回る記録的な大雨となるなど、観測史上1位の値を更新した所があったほか、静岡県で350ミリ、神奈川県で150ミリを超える大雨となった。台風の接近に伴って、東日本の太平洋側では非常に強い風が吹き、最大瞬間風速30メートル以上を観測した所もあった。

また、期間を通して、西日本から北日本の広い範囲で大気の状態が非常に不安定となったため雷を伴った非常に激しい雨が降り、各地で積乱雲が発達して、突風による被害が発生した。特に静岡県では、5日昼過ぎに複数の市町村で、国内最大級の日本版改良藤田スケールの3に相当する竜巻を含む突風が発生した。

この大雨等の影響により、東日本太平洋側を中心に、土砂災害、浸水害、突風災害等が発生し、人的被害や住家被害が発生した。また、鉄道の運休や道路通行止め等の交通障害が発生した。(被害の状況は令和7年11月14日の消防庁とりまとめ、令和7年9月8日の国土交通省とりまとめ等による)

9月2日から9月3日

9月2日から3日は、低気圧や前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込み、大気の状態が非常に不安定になった影響で、東北地方の日本海側と北陸地方で大雨となり、特に秋田県では日降水量が200ミリを超え、平年の9月の月降水量を上回る記録的な大雨になるなど、観測史上1位の値を更新した所があった。

[日降水量100ミリ以上を観測した主な地点]

9月2日	秋田県北秋田市脇神(ワキガミ)	213.0	ミリ
	青森県十和田市休屋(ヤスマヤ)	104.5	ミリ
9月3日	新潟県上越市川谷(カワダニ)	119.0	ミリ
	富山県氷見市氷見(ヒミ)	119.0	ミリ

9月4日から9月5日

台風第15号は、4日夜にかけて九州にかなり接近した後、西日本の太平洋側沿岸を進んで、5日01時半頃に愛媛県愛南町付近に上陸し、08時過ぎに和歌山県北部に再上陸した。その後、台風は東日本太平洋側沿岸を進み、12時過ぎに愛知県豊橋市付近に再上陸し、14時前に静岡県伊豆半島を通過して16時半頃に千葉県館山市付近に再上陸した。

台風本体や台風周辺の暖かく湿った空気が流れ込み、大気の状態が非常に不安定になった影響で、4日は九州南部を中心に、5日は西日本から東日本の太平洋側、東北地方の広範囲で大雨となり、宮崎県、静岡県、

神奈川県では線状降水帯が発生した。特に、宮崎県では4日は日降水量が450ミリを超えるなど平年の9月の月降水量を上回る記録的な大雨となったほか、5日は静岡県で日降水量が350ミリ、神奈川県では日降水量が150ミリを超える大雨となるなど、観測史上1位の値を更新した所があった。また、台風の接近に伴い東日本の太平洋側では非常に強い風が吹き、最大瞬間風速30メートル以上を観測した所もあった。

台風の影響で、九州北部地方や九州南部・奄美地方、四国地方では、4日から5日にかけて、近畿南部や東日本太平洋側では5日は、有義波高が4メートルをこえるしけとなった。

静岡県では、5日昼過ぎに複数の市町村で竜巻やダウンバーストまたはガストフロントとみられる突風の被害が発生した。

〔日降水量100ミリ以上を観測した主な地点〕

9月4日	宮崎県児湯郡都農町都農(ツノ)	459.0	ミリ
	大分県佐伯市佐伯(サイキ)	276.0	ミリ
	高知県吾川郡仁淀川町鳥形山(トリガタヤマ)	261.5	ミリ
	徳島県那賀郡那賀町木頭(キウ)	177.0	ミリ
	熊本県球磨郡湯前町湯前横谷(ユノマエヨコタニ)	115.0	ミリ
	愛媛県宇和島市宇和島(ウワシマ)	104.0	ミリ
9月5日	静岡県伊豆市天城山(アマギサン)	356.5	ミリ
	奈良県吉野郡下北山村下北山(シモキタヤマ)	220.5	ミリ
	愛知県新城市作手(ツケテ)	199.0	ミリ
	長野県飯田市南信濃(ミナミシナノ)	195.5	ミリ
	和歌山県東牟婁郡那智勝浦町色川(イロカワ)	178.5	ミリ
	宮城県石巻市雄勝(オガツ)	171.5	ミリ
	神奈川県藤沢市辻堂(ツジトウ)	171.0	ミリ
	千葉県安房郡鋸南町鋸南(キョナン)	165.0	ミリ
	三重県度会郡大紀町藤坂峠(フジサカウケ)	161.0	ミリ
	山梨県南巨摩郡南部町南部(ナンブ)	158.0	ミリ
	岐阜県下呂市金山(カナヤマ)	154.0	ミリ
	茨城県笠間市笠間(カサマ)	150.5	ミリ
	東京都八王子市八王子(ハチオウジ)	131.0	ミリ
	埼玉県所沢市所沢(トコロザワ)	123.0	ミリ
	秋田県秋田市大正寺(ダイショウジ)	108.5	ミリ
	香川県仲多度郡多度津町多度津(タツ)	108.5	ミリ
	高知県香美市繁藤(シゲトウ)	101.5	ミリ

〔最大風速20メートル以上を観測した地点〕

9月5日	静岡県賀茂郡南伊豆町石廊崎(イロウサキ)	23.3	メートル
	東京都神津島村神津島(コウヅシマ)	21.0	メートル

〔6〕10月8日～10月13日：関東甲信(大雨、暴風、高波、高潮)＜台風第22号、台風第23号＞

10月4日15時に小笠原近海で発生した台風第22号は、日本の南を発達しながら北西へ進み、6日には暴

風域を伴い、7日には非常に強い勢力となった。台風は、8日には北東へ進路を変え、非常に強い勢力を保ったまま9日明け方から朝にかけて伊豆諸島に最も接近した。台風の接近に伴って、伊豆諸島南部では猛烈な風が吹き、海はうねりを伴って猛烈なしけとなった。その後、台風は、日本の東を東北東へ進み、11日09時にはアリューシャンの南の海上で温帯低気圧に変わった。

この影響で、伊豆諸島では、9日明け方から朝にかけて線状降水帯が発生して猛烈な雨が降り、八丈島では9日にかけての総降水量が400ミリを超える記録的な大雨となった。また、八丈島では最大風速34.5メートル、最大瞬間風速54.7メートルを観測したほか、八重見ヶ原では最大瞬間風速54.0メートルを記録し、観測史上1位の値を更新するなど記録的な暴風となった。

また、10月8日09時にフィリピンの東で発生した台風第23号は、11日にかけて日本の南を北上し、その後、進路を東よりに変えて、台風第22号と同じような進路で、強い勢力で10月13日昼前にかけて伊豆諸島に最も接近した。伊豆諸島では、前線の影響で台風が接近する前から大雨となり、台風の接近により11日から13日にかけての総降水量が200ミリを超える大雨となった。また、伊豆諸島では、八重見ヶ原で13日朝に最大瞬間風速40メートル以上の風を観測したほか、海上は猛烈なしけとなり、13日夜遅くにかけて大しけとなった。

これらの台風の影響により、伊豆諸島では、大雨による土砂災害等が発生し、住家被害が発生した。また、断水等ライフラインへの被害が発生したほか、航空機の欠航や道路通行止め等の交通障害が発生した。（被害の状況は令和7年11月13日の消防庁とりまとめ、令和7年11月13日の国土交通省とりまとめ等による）

10月8日から10月10日

台風第22号は非常に強い勢力で、9日明け方から朝にかけて伊豆諸島に最も接近した。台風の接近に伴って、伊豆諸島南部では猛烈な風が吹き、関東地方や伊豆諸島北部では有義波高が6メートルをこえる大しけとなり、伊豆諸島南部では有義波高が9メートルをこえる猛烈なしけとなった。

この影響で、伊豆諸島では、9日明け方から朝にかけて線状降水帯が発生して猛烈な雨が降り、八丈島では9日にかけての総降水量が400ミリを超える記録的な大雨となった。また、八丈島では最大風速34.5メートル、最大瞬間風速54.7メートルを観測したほか、八重見ヶ原では最大瞬間風速54.0メートルを記録し、観測史上1位の値を更新するなど記録的な暴風となった。愛知県田原市赤羽根では、10月9日未明に最大潮位偏差が55センチ、最高潮位が標高112センチとなった。

〔日降水量100ミリ以上を観測した主な地点〕

10月9日	東京都八丈町八丈島(ハチジョウジマ)	337.5	ミリ
-------	--------------------	-------	----

〔最大風速20メートル以上を観測した地点〕

10月9日	東京都八丈町八丈島(ハチジョウジマ)	34.5	メートル
	東京都八丈町八重見ヶ原(ヤエミガハラ)	34.3	メートル
	東京都三宅村三宅坪田(ミヤケツボタ)	27.5	メートル
	東京都三宅村三宅島(ミヤケジマ)	26.5	メートル
	東京都大島町大島北ノ山(オオシマキタノヤマ)	20.8	メートル

10月11日から10月13日

台風第23号は、台風第22号と同じような進路で、強い勢力で13日昼前にかけて伊豆諸島に最も接近した。伊豆諸島では、前線の影響で台風が接近する前から大雨となり、台風の接近により13日にかけての総降水量

が200ミリを超える大雨となった。また、伊豆諸島では、八重見ヶ原で13日朝に最大瞬間風速40メートル以上の風を観測したほか、13日は、関東地方や伊豆諸島北部では有義波高が4メートルをこえるしけ、伊豆諸島南部では有義波高が6メートルをこえる大しけとなった。

[日降水量100ミリ以上を観測した主な地点]

10月13日	東京都八丈町八丈島(ハチジョウシマ)	131.5	ミリ
--------	--------------------	-------	----

資料 1-2-1 主な気象災害に対応する気象資料

※観測値の表の記号について

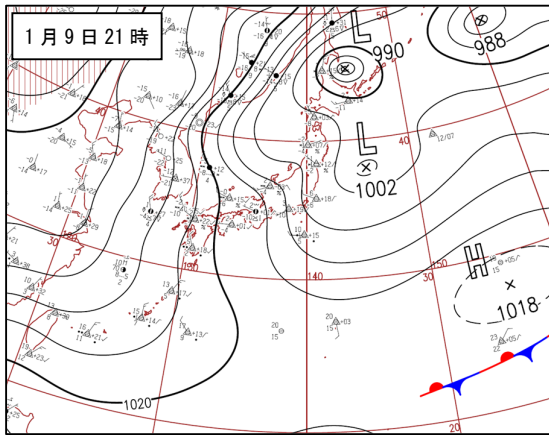
) : 統計を行う対象資料が許容範囲内で欠けていますが、上位の統計に用いる際は一部の例外を除いて原則として正常値と同等に扱います。(準正常値)

] : 統計を行う対象資料が許容範囲を超えて欠けています。(資料不足値)

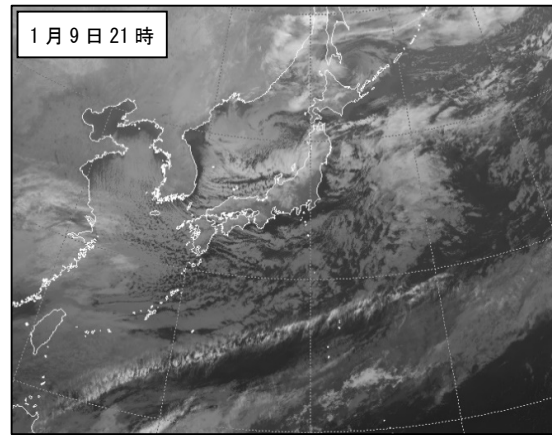
○ 災害番号(1)

冬型の気圧配置や低気圧による大雪等(1月8日～1月10日)

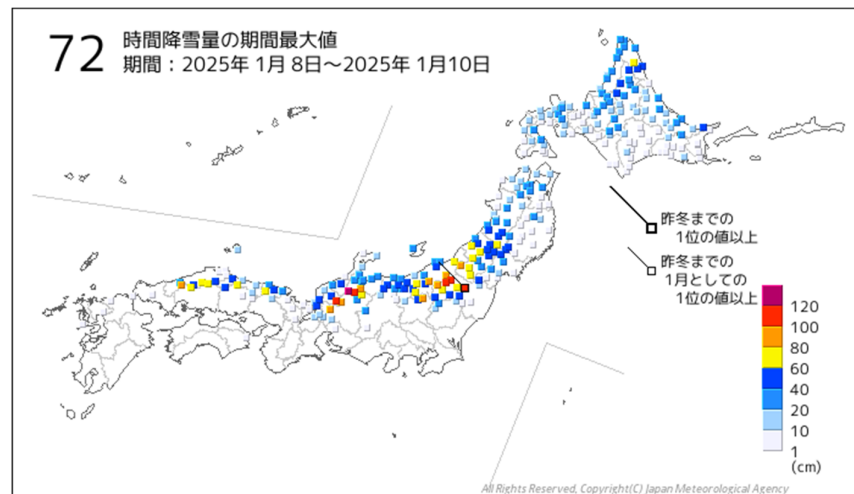
地上天気図



気象衛星画像(赤外)



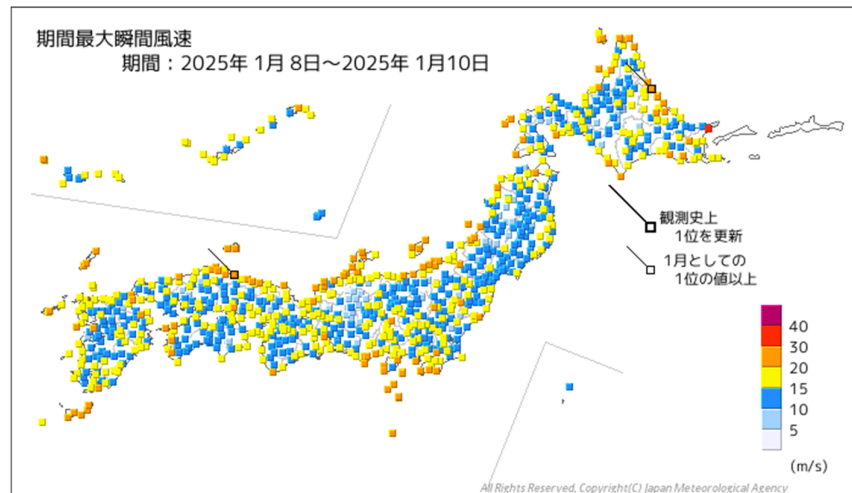
期間最大 72 時間降雪量分布図(1月8日～1月10日)



期間最大 72 時間降雪量表(上位 10 地点)(1月8日～1月10日)

順位	都道府県	市町村	地点	期間最大値	
				cm	年月日 時分(まで)
1	岐阜県	大野郡白川村	白川（シラカフ）	128	2025/1/10 10:00
2	福島県	大沼郡金山町	金山（カネヤマ）	116	2025/1/10 22:00
3	岐阜県	飛騨市	河合（カワイ）	113	2025/1/10 21:00
4	福島県	耶麻郡西会津町	西会津（ニシアイツ）	107	2025/1/10 23:00
5	福井県	大野市	九頭竜（クズリュウ）	104	2025/1/10 16:00
6	福島県	耶麻郡猪苗代町	猪苗代（イナワシロ）	102	2025/1/10 20:00
7	新潟県	魚沼市	守門（スモン）	99	2025/1/10 19:00
8	群馬県	利根郡みなかみ町	藤原（フジワラ）	96	2025/1/10 00:00
9	岐阜県	郡上市	長滝（ナガタキ）	95	2025/1/10 11:00
10	新潟県	東蒲原郡阿賀町	津川（ツガフ）	94	2025/1/10 20:00

期間最大瞬間風速分布図(1月8日～1月10日)



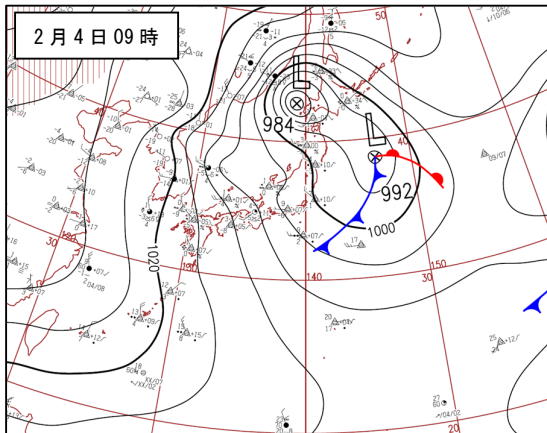
期間最大瞬間風速表(上位 10 地点)(1月8日～1月10日)

順位	都道府県	市町村	地点	期間最大値		
				m/s	風向	年月日 時分(まで)
1	北海道 根室地方	目梨郡羅臼町	羅臼 (ラウス)	31.8	北北西	2025/1/8 02:59
2	北海道 日高地方	幌泉郡えりも町	えりも岬 (エリモミサキ)	29.7	西	2025/1/8 21:08
3	東京都	三宅村	三宅島 (ミヤケジマ)	29.6	西	2025/1/10 01:40
4	山形県	酒田市	飛島 (トビシマ)	29.5	北西)	2025/01/10 09:43)
5	新潟県	新潟市東区	松浜 (マツハマ)	28.3	北北西	2025/1/9 15:35
6	京都府	京丹後市	間人 (タイザ)	28.0	西南西	2025/1/8 16:50
7	新潟県	長岡市	寺泊 (テラドマリ)	27.1	西南西	2025/1/9 18:31
8	北海道 釧路地方	釧路市	釧路 (クシロ)	26.6	西	2025/1/9 02:58
〃	石川県	金沢市	金沢 (カナザワ)	26.6	西南西	2025/1/8 00:25
10	北海道 宗谷地方	稚内市	宗谷岬 (ソウヤミサキ)	26.3	東北東	2025/1/10 04:39

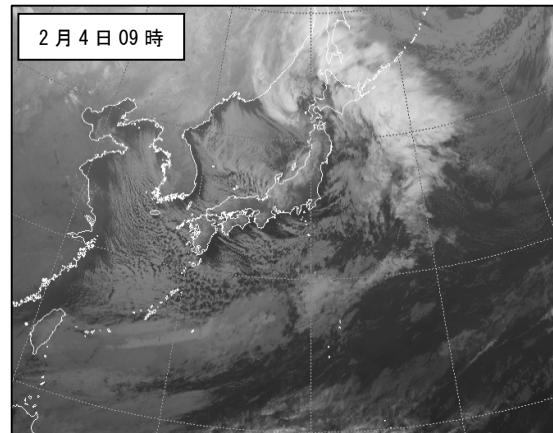
○ 災害番号(2)

冬型の気圧配置や低気圧による大雪等(2月3日～2月9日)

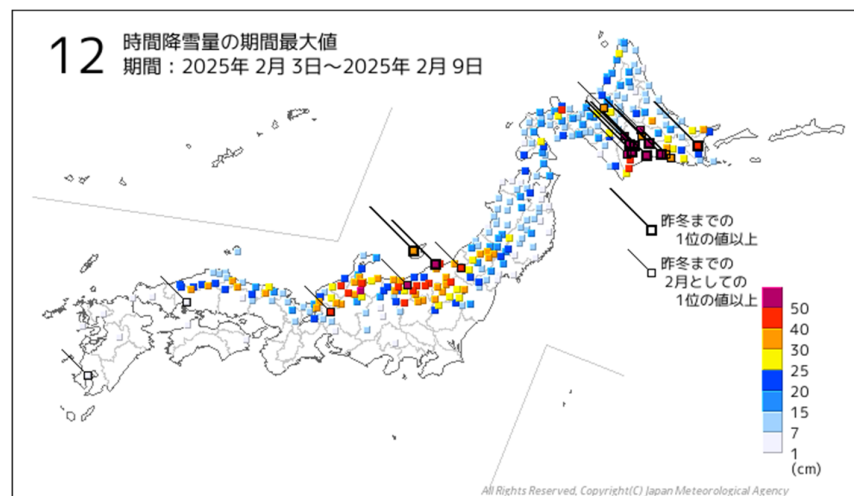
地上天気図



気象衛星画像(赤外)



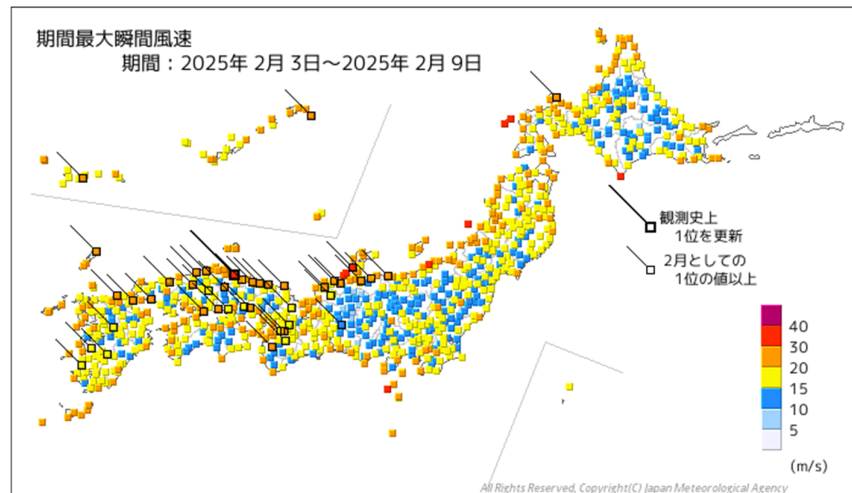
期間最大12時間降雪量分布図(2月3日～2月9日)



期間最大12時間降雪量表(上位10地点)(2月3日～2月9日)

順位	都道府県	市町村	地点	期間最大値	
				cm	年月日 時分(まで)
1	北海道 十勝地方	帯広市	帯広(オビヒロ)	120	2025/2/4 09:00
2	北海道 十勝地方	中川郡本別町	本別(ホンベツ)	107	2025/2/4 11:00
3	北海道 十勝地方	河西郡芽室町	芽室(メムロ)	105	2025/2/4 08:00
4	北海道 十勝地方	十勝郡浦幌町	浦幌(ウラホロ)	78	2025/2/4 11:00
5	北海道 十勝地方	帯広市	帯広泉(オビヒロイズミ)	76	2025/2/4 08:00
6	北海道 釧路地方	白糠郡白糠町	白糠(シラヌカ)	69	2025/2/4 11:00
7	北海道 十勝地方	河西郡中札内村	上札内(カミサツナイ)	67	2025/2/4 07:00
8	新潟県	上越市	安塚(ヤスツカ)	57	2025/2/4 17:00
9	北海道 十勝地方	河東郡上士幌町	ぬかびら源泉郷(ヌカピラゲンセンキョウ)	51	2025/2/4 11:00
10	北海道 十勝地方	上川郡新得町	新得(シントク)	51	2025/2/4 09:00

期間最大瞬間風速分布図(2月3日～2月9日)



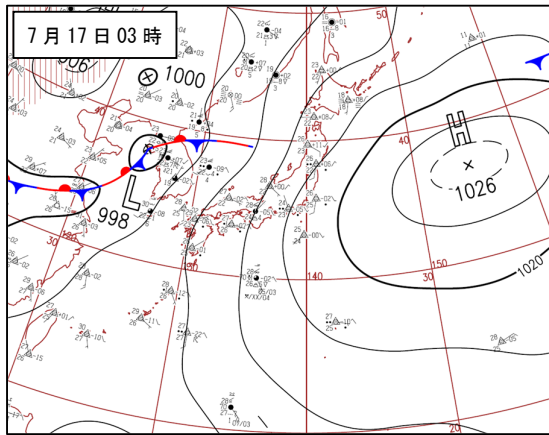
期間最大瞬間風速表(上位10地点)(2月3日～2月9日)

順位	都道府県	市町村	地点	期間最大値		
				m/s	風向	年月日 時分(まで)
1	北海道 檜山地方	奥尻郡奥尻町	奥尻 (オクシリ)	34.8	西	2025/2/4 11:45
2	北海道 日高地方	幌泉郡えりも町	えりも岬 (エリモミサキ)	33.9	西南西	2025/2/5 17:01
3	山形県	酒田市	飛島 (トビシマ)	33.0	西)	2025/02/05 22:05)
4	東京都	神津島村	神津島 (コウツシマ)	32.9	西北西	2025/2/5 18:30
〃	鳥取県	西伯郡大山町	塩津 (シオツ)	32.9	西)	2025/02/05 14:53)
6	新潟県	新潟市西蒲区	巻 (マキ)	31.9	西南西	2025/2/5 19:16
7	石川県	かほく市	かほく (カホク)	31.5	西	2025/2/7 20:51
8	石川県	羽咋市	羽咋 (ハクイ)	31.4	北西)	2025/02/07 21:18)
9	北海道 檜山地方	奥尻郡奥尻町	米岡 (ヨネオカ)	30.3	西	2025/2/4 10:33
10	石川県	金沢市	金沢 (カナザワ)	30.1	西北西	2025/2/7 20:29

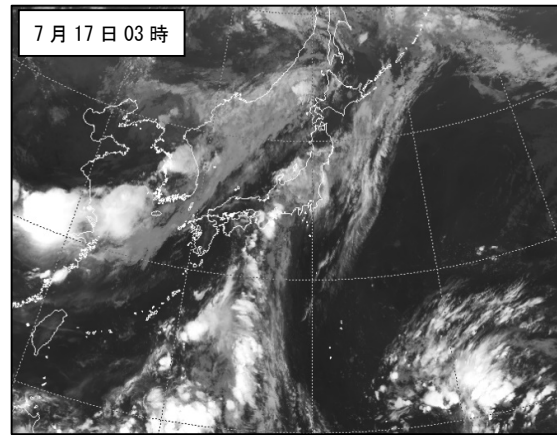
○ 災害番号(3)

台風第5号や大気不安定による大雨(7月14日～7月18日)

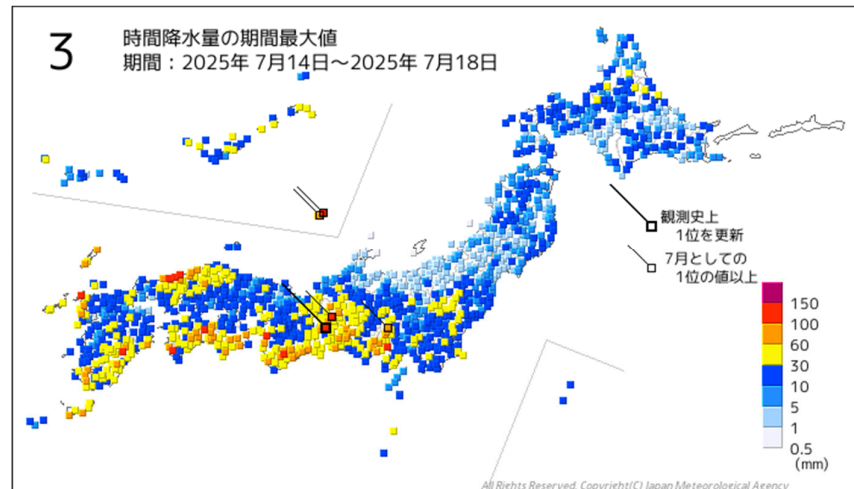
地上天気図



気象衛星画像(赤外)



期間最大3時間降水量分布図(7月14日～7月18日)



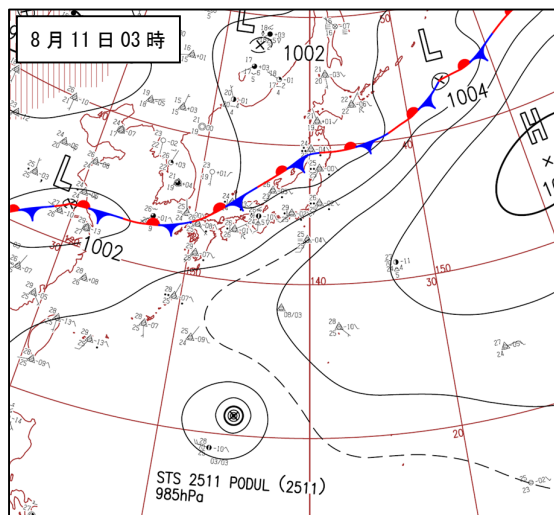
期間最大3時間降水量表(上位10地点)(7月14日～7月18日)

順位	都道府県	市町村	地点	期間最大値		
				mm	年月日	時分(まで)
1	三重県	桑名市	桑名(クワナ)	144.5	2025/7/17	13:10
2	岐阜県	岐阜市	岐阜(ギフ)	127.5	2025/7/17	14:30
3	沖縄県	島尻郡北大東村	北大東(キタダイトウ)	123.5	2025/7/17	02:20
4	高知県	宿毛市	宿毛(スクモ)	116.0	2025/7/17	23:30
5	島根県	浜田市	浜田(ハマダ)	112.5	2025/7/14	14:20
6	奈良県	吉野郡十津川村	葛川(クズカワ)	112.0	2025/7/17	10:00
7	高知県	吾川郡いの町	本川(ホンガワ)	111.0	2025/7/17	18:10
8	静岡県	富士市	富士(フジ)	106.0	2025/7/15	08:10
9	長崎県	平戸市	平戸(ヒラド)	105.0	2025/7/18	16:40
10	島根県	浜田市	三隅(ミスミ)	103.0	2025/7/14	14:00

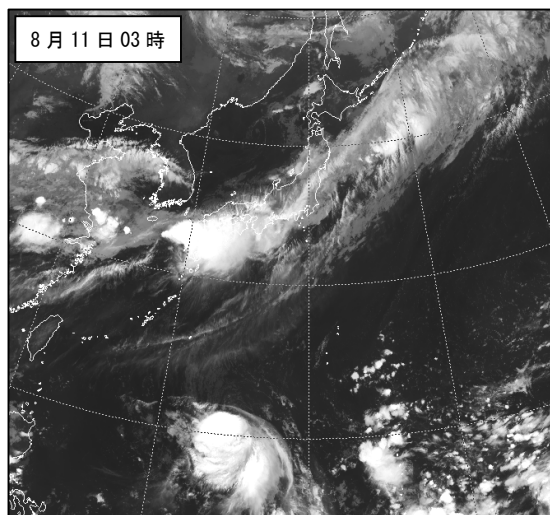
○ 災害番号(4)

低気圧や前線による大雨(8月6日～8月12日)

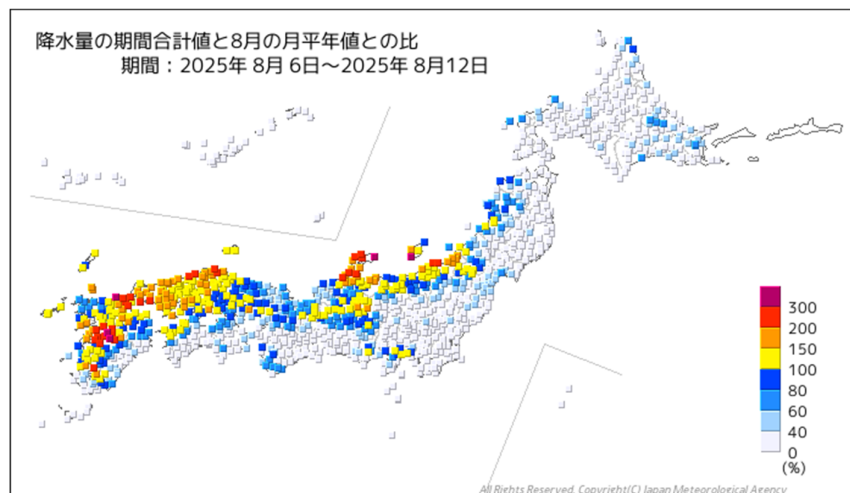
地上天気図



気象衛星画像(赤外)



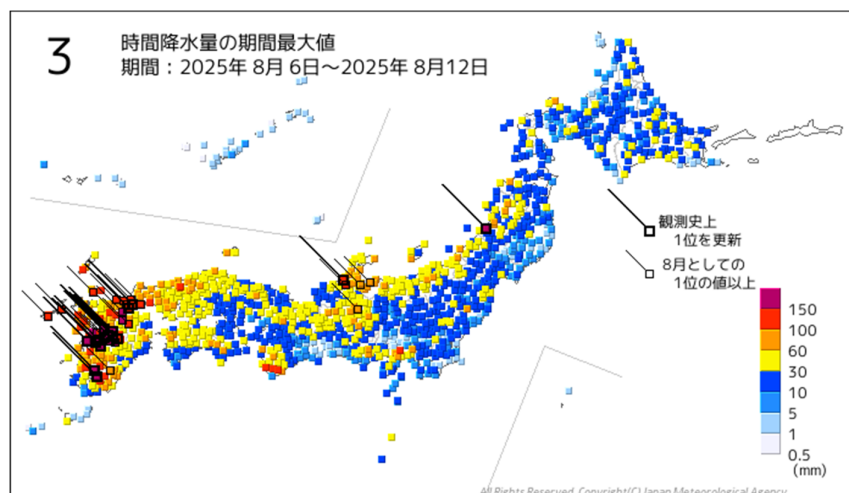
降水量の期間合計値と8月の月平年値との比の分布図(8月6日～8月12日)



降水量の期間合計値と8月の月平年値との比の表(上位10地点)(8月6日～8月12日)

順位	都道府県	市町村	地点	期間合計値	平年比
				mm	%
1	熊本県	上益城郡甲佐町	甲佐(コウサ)	690.5	363
2	熊本県	上益城郡山都町	山都(ヤマト)	665.0	284
3	福岡県	宗像市	宗像(ムナカタ)	630.0	356
4	熊本県	八代市	八代(ヤツシロ)	598.0	294
5	熊本県	熊本市中央区	熊本(クマモト)	595.0	305
6	鹿児島県	霧島市	牧之原(マキノハラ)	588.0	191
7	新潟県	佐渡市	羽茂(ハモチ)	587.0	408
8	長崎県	雲仙市	雲仙岳(ウンゼンダケ)	583.0	185
9	鹿児島県	霧島市	溝辺(ミゾベ)	568.5	215
10	長野県	木曽郡王滝村	御嶽山(オントケサン)	562.0	140

期間最大 3 時間降水量分布図(8 月 6 日～8 月 12 日)

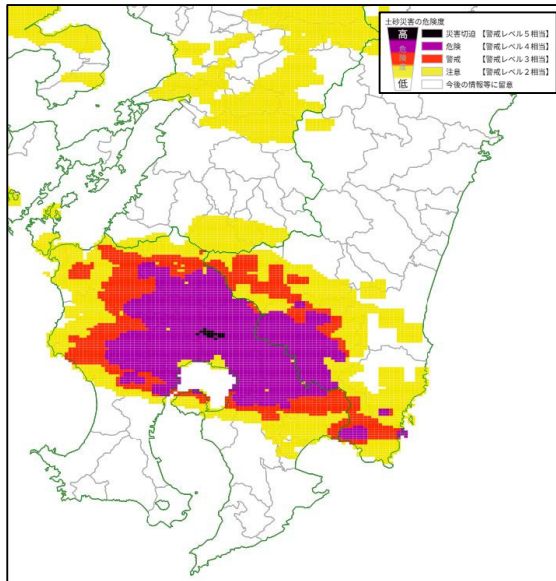


期間最大 3 時間降水量表(上位 10 地点)(8 月 6 日～8 月 12 日)

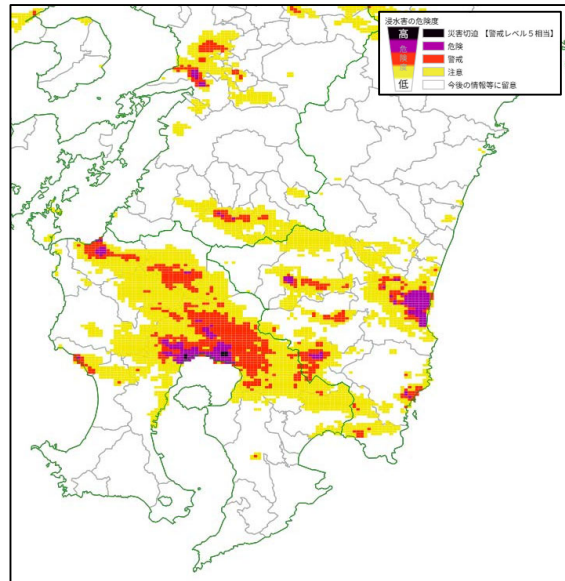
順位	都道府県	市町村	地点	期間最大値	
				mm	年月日 時分(まで)
1	熊本県	玉名市	岱明 (タイメイ)	284.0	2025/8/10 23:50
2	鹿児島県	霧島市	溝辺 (ミゾベ)	240.0	2025/8/8 03:40
3	熊本県	上天草市	松島 (マツシマ)	239.0]	2025/8/11 08:10
4	熊本県	熊本市中央区	熊本 (クマモト)	223.0	2025/8/11 01:00
5	熊本県	菊池市	菊池 (キクチ)	211.5	2025/8/11 00:00
6	熊本県	上益城郡益城町	益城 (マシキ)	210.5	2025/8/11 01:00
7	熊本県	八代市	八代 (ヤツシロ)	198.0	2025/8/11 09:50
8	長崎県	雲仙市	雲仙岳 (ウンゼンダケ)	194.5	2025/8/11 02:50
9	熊本県	上益城郡山都町	山都 (ヤマト)	187.5	2025/8/11 04:20
10	熊本県	上益城郡甲佐町	甲佐 (コウサ)	186.5	2025/8/11 04:20

8月7日12時から8日12時にかけて出現した各格子・各流路ごとの最大の危険度

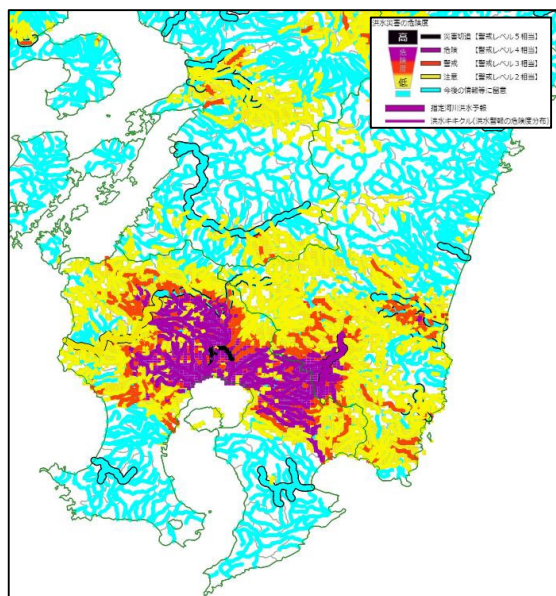
土砂キキクル



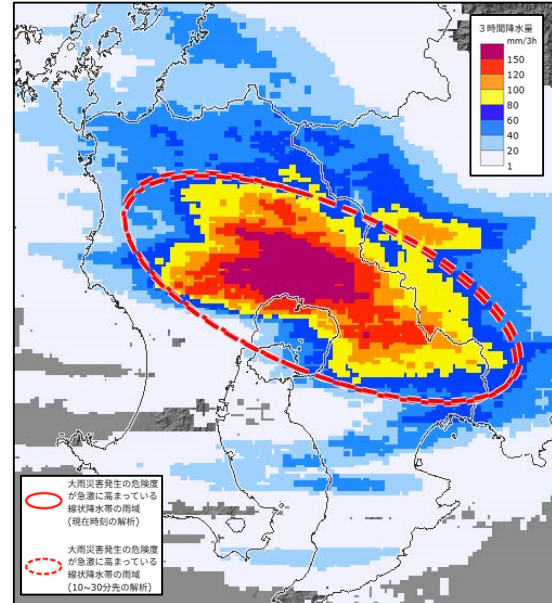
浸水キキクル



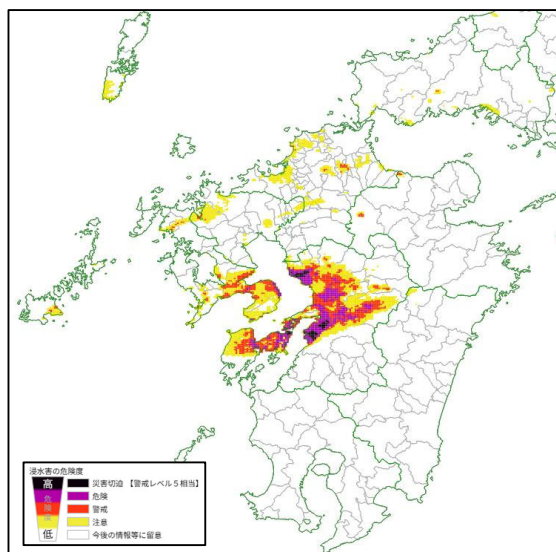
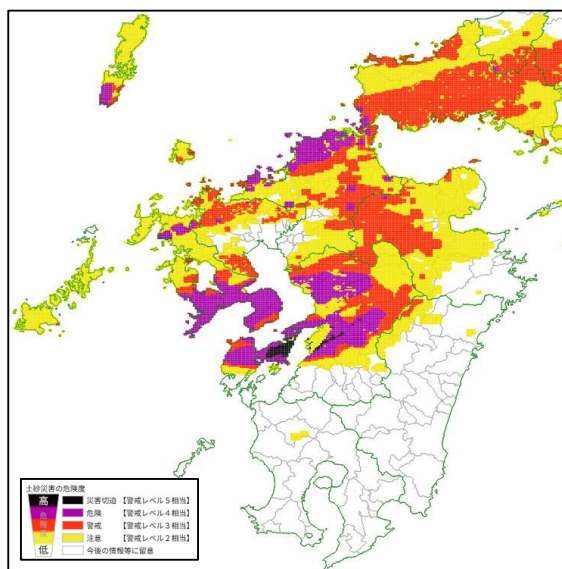
洪水キキクル



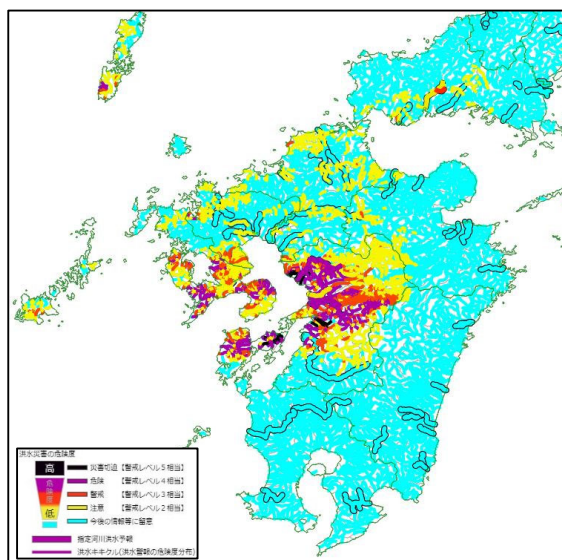
参考:前3時間降水量(解析雨量)(8日4時40分)



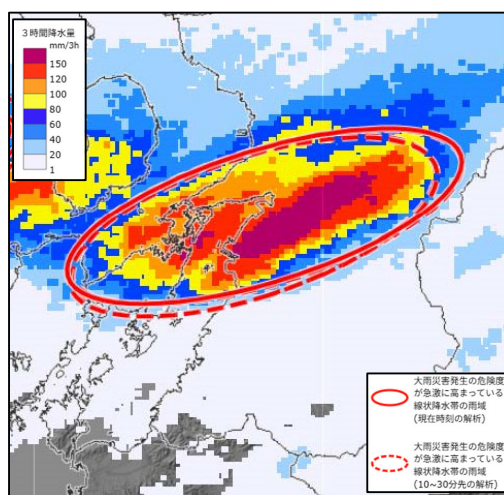
8月11日0時から12日0時にかけて出現した各格子・各流路ごとの最大の危険度
土砂キキクル 浸水キキクル



洪水キキクル



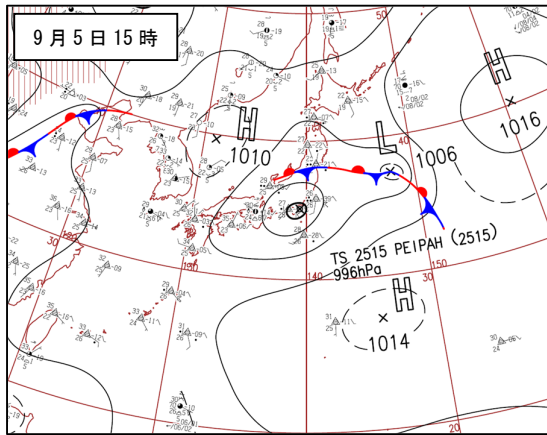
参考:前3時間降水量(解析雨量)(11日5時30分)



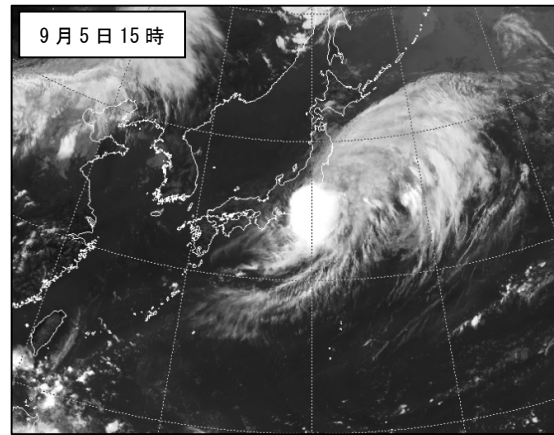
○ 災害番号(5)

前線と台風第 15 号による大雨や暴風(9 月 2 日～9 月 5 日)

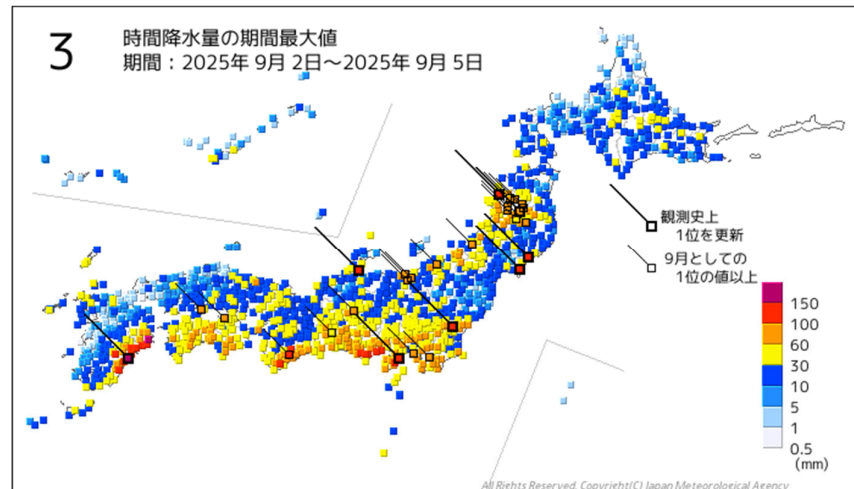
地上天気図



気象衛星画像(赤外)



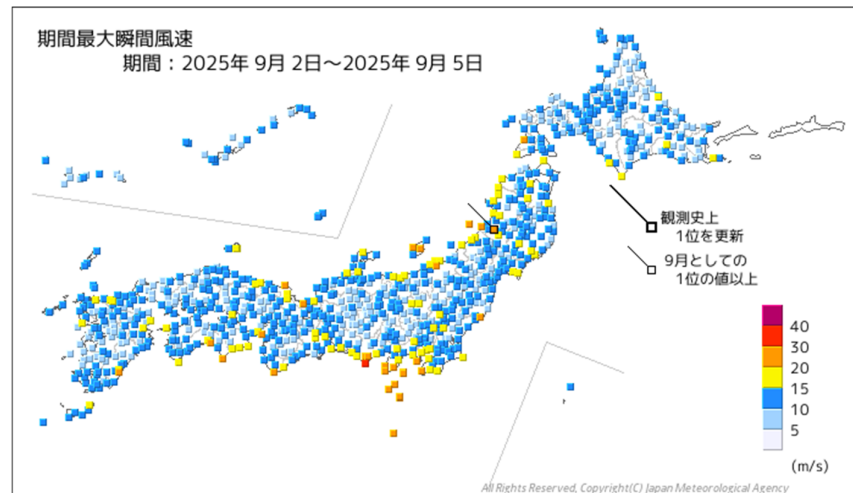
期間最大3時間降水量分布図(9月2日～9月5日)



期間最大3時間降水量表(上位10地点)(9月2日～9月5日)

順位	都道府県	市町村	地点	期間最大値	
				mm	年月日 時分(まで)
1	大分県	佐伯市	佐伯(サイキ)	168.5	2025/9/4 20:40
2	宮崎県	児湯郡都農町	都農(ツノ)	163.5	2025/9/4 18:10
3	静岡県	菊川市	菊川牧之原(キクガワマキノハラ)	148.5	2025/9/5 13:30
4	宮城県	石巻市	雄勝(オガツ)	145.0	2025/9/5 05:20
5	大分県	佐伯市	蒲江(カマエ)	141.0	2025/9/4 20:30
6	宮崎県	日向市	日向(ヒュウガ)	138.0	2025/9/4 18:30
7	静岡県	牧之原市	静岡空港(シズオカクウコウ)	133.0	2025/9/5 13:30
8	宮城県	牡鹿郡女川町	女川(オナガワ)	129.0	2025/9/5 05:00
〃	静岡県	掛川市	掛川(カケガワ)	129.0	2025/9/5 13:20
10	奈良県	吉野郡下北山村	下北山(シモキタヤマ)	127.5	2025/9/5 03:50

期間最大瞬間風速分布図(9月2日～9月5日)



期間最大瞬間風速表(上位10地点)(9月2日～9月5日)

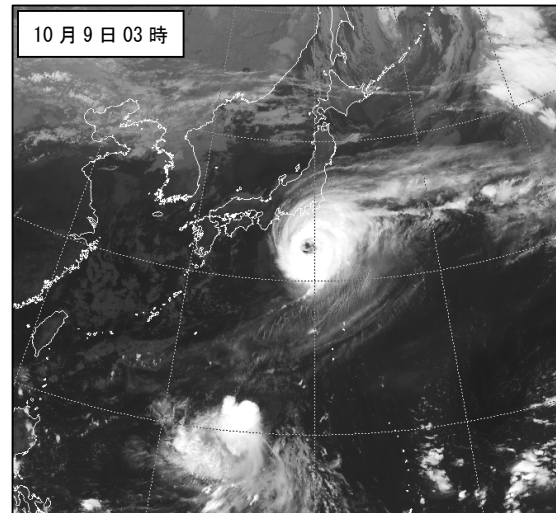
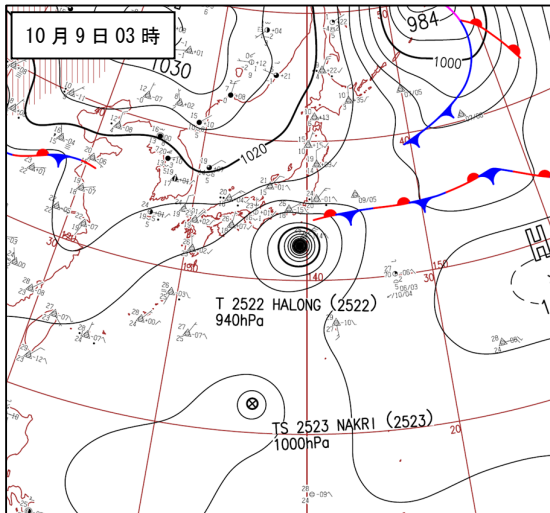
順位	都道府県	市町村	地点	期間最大値		
				m/s	風向	年月日 時分(まで)
1	静岡県	御前崎市	御前崎 (オマエザキ)	34.0	南西	2025/9/5 12:44
2	静岡県	賀茂郡南伊豆町	石廊崎 (イロウザキ)	29.2	南南西	2025/9/5 13:40
3	東京都	大島町	大島 (オオシマ)	28.9	南南西	2025/9/5 14:40
4	東京都	神津島村	神津島 (コウツシマ)	28.8	南西	2025/9/5 15:09
5	東京都	大島町	大島北ノ山 (オオシマキタノヤマ)	27.3	南南西	2025/9/5 14:39
6	京都府	京丹後市	間人 (タイザ)	27.1	西北西	2025/9/2 19:13
7	高知県	室戸市	室戸岬 (ムロトミサキ)	26.2	南西	2025/9/5 04:42
8	秋田県	由利本荘市	東由利 (ヒガシユリ)	25.5	北北西	2025/9/2 11:51
9	福島県	いわき市	小名浜 (オナハマ)	25.3	北北西	2025/9/2 17:28
10	東京都	三宅村	三宅島 (ミヤケジマ)	24.7	西	2025/9/5 16:41

○ 災害番号(6)

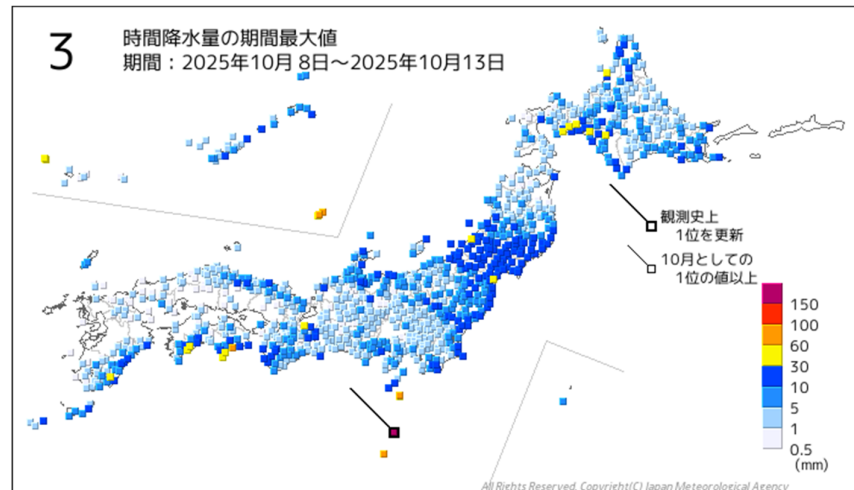
台風第 22 号及び台風第 23 号による暴風や大雨(10 月 8 日～10 月 13 日)

地上天気図

気象衛星画像(赤外)



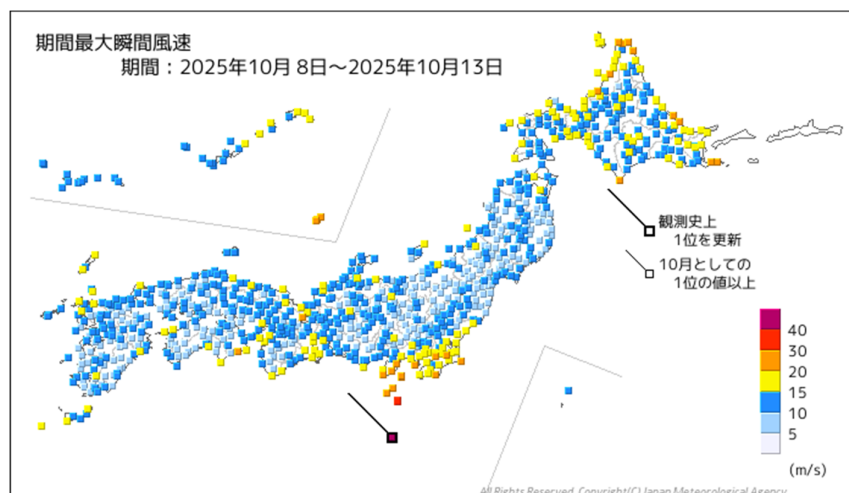
期間最大 3 時間降水量分布図(10 月 8 日～10 月 13 日)



期間最大 3 時間降水量表(上位 10 地点)(10 月 8 日～10 月 13 日)

順位	都道府県	市町村	地点	期間最大値	
				mm	年月日 時分(まで)
1	東京都	八丈町	八丈島 (ハチジョウジマ)	207.0	2025/10/9 07:00
2	東京都	八丈町	八重見ヶ原 (ヤエミガハラ)	142.0]	2025/10/9 07:00
3	東京都	青ヶ島村	青ヶ島 (アオガシマ)	82.5	2025/10/11 21:50
4	沖縄県	島尻郡南大東村	旧東 (キュウトウ)	79.5	2025/10/11 00:00
5	沖縄県	島尻郡北大東村	北大東 (キタダイトウ)	70.0	2025/10/11 00:30
6	東京都	三宅村	三宅島 (ミヤケジマ)	61.5	2025/10/12 19:20
7	徳島県	海部郡海陽町	海陽 (カイヨウ)	61.0	2025/10/12 08:40
8	東京都	三宅村	三宅坪田 (ミヤケツボタ)	57.5	2025/10/12 18:50
9	高知県	室戸市	佐喜浜 (サキハマ)	54.5	2025/10/12 07:10
10	高知県	高岡郡四万十町	窪川 (クボカワ)	53.0	2025/10/11 22:40

期間最大瞬間風速分布図(10月8日～10月13日)

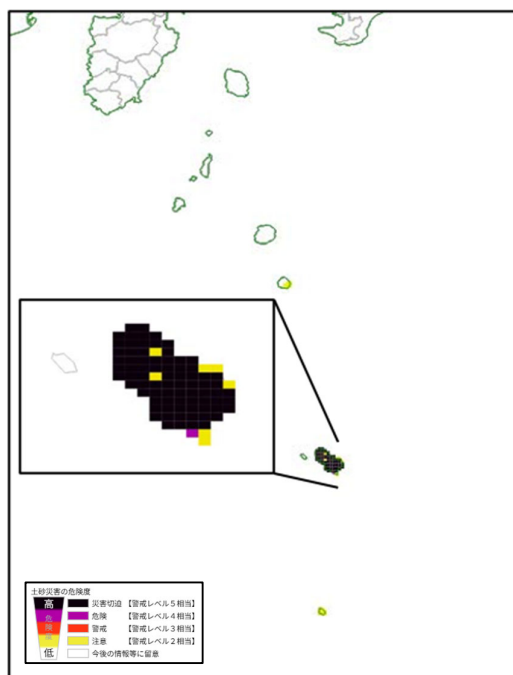


期間最大瞬間風速表(上位 10 地点)(10月8日～10月13日)

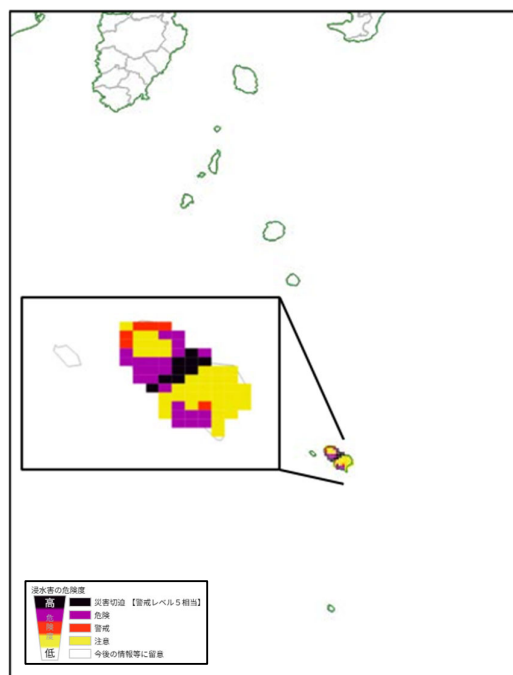
順位	都道府県	市町村	地点	期間最大値		
				m/s	風向	年月日 時分(まで)
1	東京都	八丈町	八丈島(ハチジョウジマ)	54.7	北東	2025/10/9 05:24
2	東京都	八丈町	八重見ヶ原(ヤエミガハラ)	54.0	北	2025/10/09 06:36)
3	東京都	三宅村	三宅坪田(ミヤケツボタ)	34.5	北北東	2025/10/09 07:45)
4	東京都	三宅村	三宅島(ミヤケジマ)	34.2	北東	2025/10/9 07:23
5	東京都	神津島村	神津島(コウツシマ)	28.8	北北東	2025/10/9 06:45
6	沖縄県	島尻郡南大東村	南大東(南大東島)(ミナミダイトウ(ミナミダイトウジマ))	28.2	南西	2025/10/10 22:19
7	東京都	大島町	大島北ノ山(オオシマキタノヤマ)	26.7	北東	2025/10/9 09:19
〃	沖縄県	島尻郡北大東村	北大東(キタダイトウ)	26.7	南南東	2025/10/10 21:55
9	静岡県	賀茂郡東伊豆町	稲取(イナトリ)	26.1	北北東	2025/10/09 03:44)
10	沖縄県	島尻郡南大東村	旧東(キュウトウ)	25.7	南西	2025/10/10 22:24

10月8日12時から9日12時にかけて出現した各格子ごとの最大の危険度

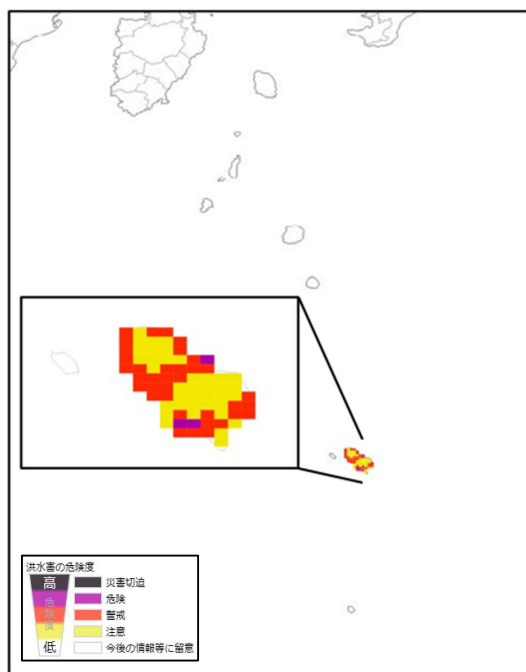
土砂キキクル



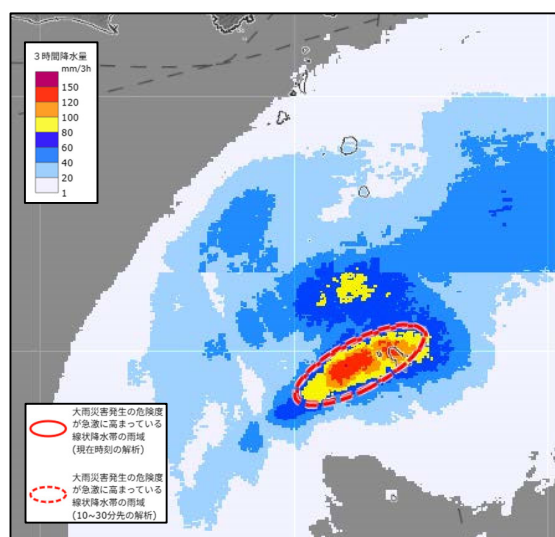
浸水キキクル



洪水キキクル



参考:前3時間降水量(解析雨量)(9日5時20分)



資料1-2-2 令和7年(2025年)に発生した主な竜巻等の突風

発生日時	現象区別	発生場所	主な被害状況	日本版改良藤田(JEF)スケール	風速	気象状況
9月2日 19時00分頃	ダウンバースト または ガストフロント	群馬県 沼田市	住家半壊2棟	JEF1	約50m/s	暖気の移流、 雷雨(熱雷)
9月5日 12時30分頃	竜巻	静岡県 掛川市	住家半壊2棟※	JEF2	約55m/s	台風
9月5日 12時50分頃	竜巻	静岡県 牧之原市、吉田町	死者1名、負傷者86名、 住家全壊76棟、半壊292棟※	JEF3	約75m/s	台風
9月5日 13時00分頃	竜巻	静岡県 焼津市	負傷者2名、 住家半壊4棟※	JEF2	約65m/s	台風
9月5日 14時10分頃	竜巻	静岡県 伊東市	負傷者1名、 住家半壊2棟※	JEF1	約50m/s	台風
9月10日 14時50分頃	ダウンバースト または ガストフロント	新潟県 上越市	住家全壊1棟※	JEF1	約45m/s	停滞前線、 暖気の移流
9月21日 01時30分頃	不明	北海道 ひだか町	負傷者3名	JEF1	約50m/s	その他(低気圧)、 寒冷前線、 暖気の移流

日本版改良藤田スケールでJEF1以上の事例のうち、被害(死者、負傷者、住家全壊、住家半壊)が発生した事例を掲載。

主な被害状況は防災機関等の資料を基に集計。※は突風以外の気象現象による被害数を含む。

即時的な調査結果を含むため、最新の情報は気象庁ホームページの「竜巻等の突風データベース」を参照。

(<https://www.data.jma.go.jp/stats/data/bosai/tornado/index.html>)

日本版改良藤田スケール(JEFスケール)

日本版改良藤田スケール(JEFスケール)とは、米国シカゴ大学の藤田哲也により1971年に考案された藤田スケールを、日本国内で発生する竜巻等突風の強さをより的確に把握できるようにするため、米国の改良スケールを参考にしつつ、日本の建築物等の特徴を加味し、最新の風工学の知見を取り入れて策定した風速のスケール。

階級	風速(m/s)の範囲 (3秒値)	主な被害の状況(参考)
JEF0	25-38	・木造の住宅において、目視でわかる程度の被害、飛散物による窓ガラスの損壊が発生する。比較的狭い範囲の屋根ふき材が浮き上がったり、はく離する。 ・園芸施設において、被覆材(ビニルなど)がはく離する。パイプハウスの鋼管が変形したり、倒壊する。 ・物置が移動したり、横転する。 ・自動販売機が横転する。 ・コンクリートブロック塀(鉄筋なし)の一部が損壊したり、大部分が倒壊する。 ・樹木の枝(直径2cm～8cm)が折れたり、広葉樹(腐朽有り)の幹が折損する。
JEF1	39-52	・木造の住宅において、比較的広い範囲の屋根ふき材が浮き上がったり、はく離する。屋根の軒先又は野地板が破損したり、飛散する。 ・園芸施設において、多くの地域でプラスチックハウスの構造部材が変形したり、倒壊する。 ・軽自動車や普通自動車(コンパクトカー)が横転する。 ・通常走行中の鉄道車両が転覆する。 ・地上広告板の柱が傾斜したり、変形する。 ・道路交通標識の支柱が傾倒したり、倒壊する。 ・コンクリートブロック塀(鉄筋あり)が損壊したり、倒壊する。 ・樹木が根返りしたり、針葉樹の幹が折損する。
JEF2	53-66	・木造の住宅において、上部構造の変形に伴い壁が損傷(ゆがみ、ひび割れ等)する。また、小屋組の構成部材が損壊したり、飛散する。 ・鉄骨造倉庫において、屋根ふき材が浮き上がったり、飛散する。 ・普通自動車(ワンボックス)や大型自動車が横転する。 ・鉄筋コンクリート製の電柱が折損する。 ・カーポートの骨組が傾斜したり、倒壊する。 ・コンクリートブロック塀(控壁のあるもの)の大部分が倒壊する。 ・広葉樹の幹が折損する。 ・墓石の碑石が転倒したり、ずれたりする。
JEF3	67-80	・木造の住宅において、上部構造が著しく変形したり、倒壊する。 ・鉄骨系プレハブ住宅において、屋根の軒先又は野地板が破損したり飛散する、もしくは外壁材が変形したり、浮き上がる。 ・鉄筋コンクリート造の集合住宅において、風圧によってベランダ等の手すりが比較的広い範囲で変形する。 ・工場や倉庫の大規模な庇において、比較的狭い範囲で屋根ふき材がはく離したり、脱落する。 ・鉄骨造倉庫において、外壁材が浮き上がったり、飛散する。 ・アスファルトがはく離・飛散する。
JEF4	81-94	・工場や倉庫の大規模な庇において、比較的広い範囲で屋根ふき材がはく離したり、脱落する。
JEF5	95-	・鉄骨系プレハブ住宅や鉄骨造の倉庫において、上部構造が著しく変形したり、倒壊する。 ・鉄筋コンクリート造の集合住宅において、風圧によってベランダ等の手すりが著しく変形したり、脱落する。

日本版改良藤田スケールに関するガイドライン

(https://www.data.jma.go.jp/stats/data/bosai/tornado/kentoukai/kaigi/2015/1221_kentoukai/guideline.pdf) より

2 令和 7 年(2025 年)台風の概要

2-1 令和 7 年(2025 年)に発生した台風

台風の発生数は平年並の 27 個(平年値 25.1 個)であった。台風第 1 号の発生は 6 月 11 日で 1951 年(昭和 26 年)の統計開始以降 5 番目に遅くなったが、7 月以降は平年よりも多くの台風が発生し、年間の発生数は平年並となった。日本への台風の接近数は平年並の 13 個(平年値 11.7 個)、日本への台風の上陸数は 3 個(平年値 3.0 個)であった。

表 2.1 令和 7 年(2025 年)の台風発生数*¹、日本への接近数*²、日本への上陸数*³と令和 6 年(2024 年)及び平年値との比較

項目		月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年間
令和 7 年 (2025 年)	発生数							2	7	5	6	4	3		27
	接近数							1	5	4	1	2	1		13
	上陸数								1	1	1				3
令和 6 年 (2024 年)	発生数						2		2	6	8	3	4	1	26
	接近数						1		1	4	4	2	1		11
	上陸数									2					2
平年値	発生数	0.3	0.3	0.3	0.6	1.0	1.7	3.7	5.7	5.0	3.4	2.2	1.0		25.1
	接近数				0.2	0.7	0.8	2.1	3.3	3.3	1.7	0.5	0.1		11.7
	上陸数					0.0	0.2	0.6	0.9	1.0	0.3				3.0

(注) ・平年値は、平成 3 年(1991 年)～令和 2 年(2020 年)の 30 年平均。

・日本への接近は 2 か月にまたがる場合があり、各月の接近数の合計と年間の接近数とは必ずしも一致しない。

発生*¹ 「発生」は協定世界時(UTC)を基準とする。

接近*² 台風の中心が、国内のいずれかの気象官署等から 300km 以内に入った場合を「接近」という。

上陸*³ 台風の中心が北海道、本州、四国、九州の海岸線に達した場合を「上陸」という。小さい島や半島を横切って短時間で再び海に出る場合は「通過」とする。

資料2-1-1 台風発生数一覧表

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年間
1951 S.26	0	1	1	2	1	1	3	3	2	4	1	2	21 (-)
52 27	0	0	0	0	0	3	3	5	3	6	3	4	27 (0)
53 28	0	1	0	0	1	2	1	6	3	5	3	1	23 (-)
54 29	0	0	1	0	1	0	1	5	5	4	3	1	21 (-)
55 30	1	1	1	1	0	2	7	6	4	3	1	1	28 (+)
56 31	0	0	1	2	0	1	2	5	6	1	4	1	23 (-)
57 32	2	0	0	1	1	1	1	4	5	4	3	0	22 (-)
58 33	1	0	0	1	1	4	7	5	5	3	2	2	31 (+)
59 34	0	1	1	1	0	0	2	5	5	4	2	2	23 (-)
60 35	0	0	0	1	1	3	3	10	3	4	1	1	27 (0)
1961 36	1	0	1	0	2	3	4	6	6	4	1	1	29 (+)
62 37	0	1	0	1	2	0	5	8	4	5	3	1	30 (+)
63 38	0	0	0	1	0	4	4	3	5	4	0	3	24 (0)
64 39	0	0	0	0	2	2	7	5	6	5	6	1	34 (+)
65 40	2	1	1	1	2	3	5	6	7	2	2	0	32 (+)
66 41	0	0	0	1	2	1	4	10	9	5	2	1	35 (+)
67 42	0	1	2	1	1	1	7	9	9	4	3	1	39 (+)
68 43	0	0	0	1	1	1	3	8	3	5	5	0	27 (0)
69 44	1	0	1	1	0	0	3	4	3	3	2	1	19 (-)
70 45	0	1	0	0	0	2	3	6	5	5	4	0	26 (0)
1971 46	1	0	1	3	4	2	8	5	6	4	2	0	36 (+)
72 47	1	0	0	0	1	3	7	5	4	5	3	2	31 (+)
73 48	0	0	0	0	0	0	7	5	2	4	3	0	21 (-)
74 49	1	0	1	1	1	4	4	5	5	4	4	2	32 (+)
75 50	1	0	0	0	0	0	2	4	5	5	3	1	21 (-)
76 51	1	1	0	2	2	2	4	4	5	1	1	2	25 (0)
77 52	0	0	1	0	0	1	3	3	5	5	1	2	21 (-)
78 53	1	0	0	1	0	3	4	8	5	4	4	0	30 (+)
79 54	1	0	1	1	2	0	4	2	6	3	2	2	24 (0)
80 55	0	0	0	1	4	1	4	2	6	4	1	1	24 (0)
1981 56	0	0	1	2	0	3	4	8	4	2	3	2	29 (+)
82 57	0	0	3	0	1	3	3	5	5	3	1	1	25 (0)
83 58	0	0	0	0	0	1	3	5	2	5	5	2	23 (-)
84 59	0	0	0	0	0	2	5	5	4	7	3	1	27 (0)
85 60	2	0	0	0	1	3	1	8	5	4	1	2	27 (0)
86 61	0	1	0	1	2	2	4	4	3	5	4	3	29 (+)
87 62	1	0	0	1	0	2	4	4	6	2	2	1	23 (-)
88 63	1	0	0	0	1	3	2	8	8	5	2	1	31 (+)
89 H. 1	1	0	0	1	2	2	7	5	6	4	3	1	32 (+)
90 2	1	0	0	1	1	3	4	6	4	4	4	1	29 (+)
1991 3	0	0	2	1	1	1	4	5	6	3	6	0	29 (+)
92 4	1	1	0	0	0	2	4	8	5	7	3	0	31 (+)
93 5	0	0	1	0	0	1	4	7	6	4	2	3	28 (+)
94 6	0	0	0	1	1	2	7	9	8	6	0	2	36 (+)
95 7	0	0	0	1	0	1	2	6	5	6	1	1	23 (-)
96 8	0	1	0	1	2	0	6	5	6	2	2	1	26 (0)
97 9	0	0	0	2	3	3	4	6	4	3	2	1	28 (+)
98 10	0	0	0	0	0	0	1	3	5	2	3	2	16 (-)
99 11	0	0	0	2	0	1	4	6	6	2	1	0	22 (-)
2000 12	0	0	0	0	2	0	5	6	5	2	2	1	23 (-)
01 13	0	0	0	0	1	2	5	6	5	3	1	3	26 (0)
02 14	1	1	0	0	1	3	5	6	4	2	2	1	26 (0)
03 15	1	0	0	1	2	2	2	5	3	3	2	0	21 (-)
04 16	0	0	0	1	2	5	2	8	3	3	3	2	29 (+)
05 17	1	0	1	1	1	0	5	5	5	2	2	0	23 (-)
06 18	0	0	0	0	1	2	2	7	3	4	2	2	23 (-)
07 19	0	0	0	1	1	0	3	4	5	6	4	0	24 (0)
08 20	0	0	0	1	4	1	2	4	4	2	3	1	22 (-)
09 21	0	0	0	0	2	2	2	5	7	3	1	0	22 (-)
2010 22	0	0	1	0	0	0	2	5	4	2	0	0	14 (-)
11 23	0	0	0	0	2	3	4	3	7	1	0	1	21 (-)
12 24	0	0	1	0	1	4	4	5	3	5	1	1	25 (0)
13 25	1	1	0	0	0	4	3	6	8	6	2	0	31 (+)
14 26	2	1	0	2	0	2	5	1	5	2	1	2	23 (-)
15 27	1	1	2	1	2	2	3	4	5	4	1	1	27 (0)
16 28	0	0	0	0	0	0	4	7	7	4	3	1	26 (0)
17 29	0	0	0	1	0	1	8	6	3	3	2	2	27 (0)
18 30	1	1	1	0	0	4	5	9	4	1	3	0	29 (+)
19 R.1	1	1	0	0	0	1	4	5	6	4	6	1	29 (+)
2020 2	0	0	0	0	1	1	0	8	3	6	3	1	23 (-)
21 3	0	1	0	1	1	2	3	4	4	4	1	1	22 (-)
22 4	0	0	0	2	0	2	2	5	7	5	1	1	25 (0)
23 5	0	0	0	1	1	1	3	6	2	2	0	1	17 (-)
24 6	0	0	0	0	2	0	2	6	8	3	4	1	26 (0)
25 7	0	0	0	0	0	2	7	5	6	4	3	0	27 (0)
平年値	0.3	0.3	0.3	0.6	1.0	1.7	3.7	5.7	5.0	3.4	2.2	1.0	25.1
1991-2020													

台風の発生月：熱帯低気圧が台風(風速およそ17m/s以上)となった月とする。

年間の(-)は24個未満、(0)は24個以上28個未満、(+)は28個以上を示す。

資料2-1-2 日本への台風接近数一覧表

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年間
1951 S.26	0	0	0	0	1	1	3	1	1	2	0	0	8
52 27	0	0	0	0	0	1	2	3	2	2	3	0	12
53 28	0	0	0	0	0	1	2	4	1	3	0	0	10
54 29	0	0	0	0	0	0	1	3	4	1	1	0	10
55 30	0	0	0	1	0	0	7	3	1	4	0	1	16
56 31	0	0	0	1	0	0	1	3	6	0	0	0	10
57 32	0	0	0	0	0	1	0	3	3	2	2	0	10
58 33	0	0	0	0	0	4	5	2	3	0	1	0	15
59 34	0	0	0	1	0	0	1	3	3	3	2	0	13
60 35	0	0	0	0	0	3	2	11	1	2	0	1	19
1961 36	0	0	0	0	1	2	2	4	4	3	0	0	15
62 37	0	0	0	0	1	0	4	6	2	1	1	0	14
63 38	0	0	0	0	0	3	2	2	2	3	0	0	12
64 39	0	0	0	0	0	0	3	3	1	1	0	0	8
65 40	0	0	0	0	1	3	1	4	4	1	1	0	15
66 41	0	0	0	0	2	2	1	7	8	1	0	0	19
67 42	0	0	0	1	0	0	3	4	3	2	1	0	13
68 43	0	0	0	0	0	1	2	2	4	1	0	0	10
69 44	0	0	0	0	0	0	0	3	1	2	2	0	8
70 45	0	0	0	0	0	0	2	4	3	0	0	0	9
1971 46	0	0	0	1	1	0	2	3	5	1	1	0	13
72 47	0	0	0	0	0	0	3	3	2	3	0	0	11
73 48	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0	4
74 49	0	0	0	0	0	1	3	4	3	0	0	0	10
75 50	0	0	0	0	0	0	1	4	1	2	2	0	9
76 51	0	0	0	1	2	2	5	2	1	0	2	0	13
77 52	0	0	0	0	0	0	1	4	2	0	0	0	6
78 53	0	0	0	0	0	2	3	6	3	1	1	0	14
79 54	0	0	0	0	1	0	0	2	2	3	0	0	7
80 55	0	0	0	0	1	0	0	2	3	2	1	0	9
1981 56	0	0	0	0	0	2	3	3	2	2	1	0	11
82 57	0	0	0	0	1	2	3	4	3	1	0	0	13
83 58	0	0	0	0	0	0	0	4	1	1	1	0	7
84 59	0	0	0	0	0	1	2	2	1	1	1	1	9
85 60	0	0	0	0	1	1	2	7	2	2	0	0	12
86 61	0	0	0	0	1	1	2	3	3	1	1	0	12
87 62	0	0	0	0	0	1	5	2	1	2	0	0	10
88 63	0	0	0	0	0	2	1	4	4	2	0	0	13
89 H. 1	0	0	0	0	0	1	3	4	3	1	0	0	11
90 2	0	0	0	0	1	1	1	5	3	1	1	1	14
1991 3	0	0	0	0	1	0	1	4	5	2	1	0	14
92 4	0	0	0	0	0	1	1	5	3	2	3	0	14
93 5	0	0	0	0	0	0	3	2	2	2	0	0	9
94 6	0	0	0	0	1	0	4	6	3	2	2	0	15
95 7	0	0	0	0	0	0	1	1	3	0	0	0	5
96 8	0	0	0	0	2	0	3	2	3	1	1	0	10
97 9	0	0	0	1	1	3	1	3	3	2	1	0	15
98 10	0	0	0	0	0	0	0	2	5	1	0	0	8
99 11	0	0	0	1	0	0	3	4	3	0	1	0	11
2000 12	0	0	0	0	2	0	4	4	3	1	1	0	15
01 13	0	0	0	0	1	0	2	2	4	2	0	0	11
02 14	0	0	0	0	0	1	6	2	3	1	1	0	13
03 15	0	0	0	1	1	2	0	2	3	1	1	1	12
04 16	0	0	0	1	1	3	3	6	3	3	0	1	19
05 17	0	0	0	1	0	1	2	3	4	2	0	0	12
06 18	0	0	0	0	0	0	3	4	2	1	0	0	10
07 19	0	0	0	0	1	0	1	4	3	3	0	0	12
08 20	0	0	0	0	3	1	2	1	2	1	0	0	9
09 21	0	0	0	0	1	0	0	3	3	2	0	0	8
2010 22	0	0	0	0	0	0	0	3	4	1	0	0	7
11 23	0	0	0	0	2	1	1	2	4	0	0	0	9
12 24	0	0	0	0	1	3	3	6	3	4	0	0	17
13 25	0	0	0	0	0	2	1	2	4	6	0	0	14
14 26	0	0	0	0	0	2	3	2	3	2	1	0	12
15 27	0	0	0	0	2	0	3	4	4	0	1	0	14
16 28	0	0	0	0	0	0	1	5	4	1	0	0	11
17 29	0	0	0	0	0	0	4	2	2	2	0	0	8
18 30	0	0	0	0	0	2	4	7	2	2	1	0	16
19 R.1	0	0	0	0	0	1	2	3	5	4	1	0	15
2020 2	0	0	0	0	0	0	0	4	3	1	0	0	7
21 3	0	0	0	1	0	2	2	3	1	2	0	1	12
22 4	0	0	0	1	0	0	3	3	6	0	0	0	11
23 5	0	0	0	0	1	2	1	3	3	1	0	0	9
24 6	0	0	0	0	1	0	1	4	4	2	1	0	11
25 7	0	0	0	0	0	1	5	4	1	2	1	0	13
平年値 1991-2020	-	-	-	0.2	0.7	0.8	2.1	3.3	3.3	1.7	0.5	0.1	11.7

台風の接近: 台風の中心が日本から概ね300km以内に入った場合をいう。

接近は2か月以内にまたがる場合があり、各月の接近数の合計と年間の接近数とは必ずしも一致しない。

資料2-1-3 北海道・本州・四国・九州への台風接近数一覧表

年\月		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年間
1951	S.26	0	0	0	0	0	0	3	0	0	1	0	0	4
52	27	0	0	0	0	0	1	1	3	1	0	1	0	7
53	28	0	0	0	0	0	1	0	2	1	0	0	0	4
54	29	0	0	0	0	0	0	0	2	4	0	0	0	6
55	30	0	0	0	0	0	0	5	1	1	4	0	0	10
56	31	0	0	0	1	0	0	0	1	3	0	0	0	5
57	32	0	0	0	0	0	1	0	2	2	0	0	0	5
58	33	0	0	0	0	0	1	1	1	2	0	0	0	5
59	34	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2	0	0	6
60	35	0	0	0	0	0	1	0	5	1	0	0	0	7
1961	36	0	0	0	0	0	1	2	3	1	1	0	0	7
62	37	0	0	0	0	0	0	1	6	1	0	0	0	8
63	38	0	0	0	0	0	3	1	2	0	0	0	0	6
64	39	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	3
65	40	0	0	0	0	1	1	0	2	4	0	1	0	9
66	41	0	0	0	0	1	2	0	2	4	1	0	0	9
67	42	0	0	0	0	0	0	1	2	1	1	0	0	5
68	43	0	0	0	0	0	0	2	2	1	0	0	0	5
69	44	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	3
70	45	0	0	0	0	0	0	2	3	0	0	0	0	5
1971	46	0	0	0	0	0	0	1	2	3	1	0	0	6
72	47	0	0	0	0	0	0	3	1	1	1	0	0	6
73	48	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
74	49	0	0	0	0	0	0	1	2	2	0	0	0	4
75	50	0	0	0	0	0	0	1	2	0	1	0	0	4
76	51	0	0	0	0	0	0	3	0	1	0	0	0	4
77	52	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	3
78	53	0	0	0	0	0	1	1	3	1	1	0	0	7
79	54	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3	0	0	5
80	55	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	3
1981	56	0	0	0	0	0	1	1	2	1	1	0	0	6
82	57	0	0	0	0	0	1	0	2	2	1	0	0	6
83	58	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1	0	0	4
84	59	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2
85	60	0	0	0	0	0	1	1	4	2	1	0	0	6
86	61	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	0	0	5
87	62	0	0	0	0	0	0	2	2	0	1	0	0	5
88	63	0	0	0	0	0	0	0	3	2	1	0	0	6
89	H. 1	0	0	0	0	0	1	2	3	1	0	0	0	7
90	2	0	0	0	0	0	0	1	3	2	1	1	0	8
1991	3	0	0	0	0	0	0	1	3	4	1	0	0	9
92	4	0	0	0	0	0	1	1	3	1	0	0	0	5
93	5	0	0	0	0	0	0	3	2	2	1	0	0	8
94	6	0	0	0	0	0	0	1	2	2	1	0	0	6
95	7	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	3
96	8	0	0	0	0	0	0	2	1	1	0	0	0	4
97	9	0	0	0	0	0	2	1	1	2	0	0	0	6
98	10	0	0	0	0	0	0	0	0	5	1	0	0	6
99	11	0	0	0	0	0	0	1	1	3	0	0	0	5
2000	12	0	0	0	0	0	0	3	0	2	0	0	0	5
01	13	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	0	0	4
02	14	0	0	0	0	0	1	4	2	0	1	0	0	8
03	15	0	0	0	1	1	1	0	1	2	0	0	0	6
04	16	0	0	0	0	1	2	1	4	2	3	0	0	12
05	17	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0	0	4
06	18	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	3
07	19	0	0	0	0	0	0	1	1	2	1	0	0	5
08	20	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	3
09	21	0	0	0	0	0	0	0	2	1	2	0	0	4
2010	22	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	3
11	23	0	0	0	0	2	0	1	0	2	0	0	0	5
12	24	0	0	0	0	0	1	0	3	2	1	0	0	6
13	25	0	0	0	0	0	1	0	0	2	3	0	0	6
14	26	0	0	0	0	0	1	1	1	0	2	0	0	5
15	27	0	0	0	0	1	0	2	1	2	0	0	0	6
16	28	0	0	0	0	0	0	0	5	3	1	0	0	9
17	29	0	0	0	0	0	0	1	1	1	2	0	0	5
18	30	0	0	0	0	0	1	2	5	2	2	0	0	10
19	R.1	0	0	0	0	0	1	1	2	2	2	0	0	8
2020	2	0	0	0	0	0	0	0	1	3	1	0	0	5
21	3	0	0	0	0	0	0	1	3	1	1	0	0	6
22	4	0	0	0	0	0	0	2	2	3	0	0	0	7
23	5	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0	4
24	6	0	0	0	0	0	0	0	3	0	1	0	0	4
25	7	0	0	0	0	0	0	1	3	1	2	0	0	7
平年値		-	-	-	0.0	0.2	0.4	1.0	1.6	1.9	0.9	-	-	5.8
1991-2020														

台風の北海道・本州・四国・九州への接近：台風の中心が北海道・本州・四国・九州から概ね300km以内に入った場合をいう。

接近は2か月にまたがる場合があり、各月の接近数の合計と年間の接近数とは必ずしも一致しない。

資料2-1-4 日本への台風上陸数一覧表

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年間
1951 S.26	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	2
52 27	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	3
53 28	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2
54 29	0	0	0	0	0	0	0	1	4	0	0	0	5
55 30	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2	0	0	4
56 31	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	3
57 32	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
58 33	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0	0	4
59 34	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1	0	0	4
60 35	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0	4
1961 36	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	3
62 37	0	0	0	0	0	0	1	4	0	0	0	0	5
63 38	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2
64 39	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
65 40	0	0	0	0	1	0	0	2	2	0	0	0	5
66 41	0	0	0	0	0	0	0	2	3	0	0	0	5
67 42	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	3
68 43	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	3
69 44	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
70 45	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	3
1971 46	0	0	0	0	0	0	1	2	1	0	0	0	4
72 47	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	3
73 48	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
74 49	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	3
75 50	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
76 51	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2
77 52	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
78 53	0	0	0	0	0	1	0	2	1	0	0	0	4
79 54	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	3
80 55	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
1981 56	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	3
82 57	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	4
83 58	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
84 59	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
85 60	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	3
86 61	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
87 62	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
88 63	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
89 H. 1	0	0	0	0	0	1	1	2	1	0	0	0	5
90 2	0	0	0	0	0	0	0	2	2	1	1	0	6
1991 3	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	3
92 4	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3
93 5	0	0	0	0	0	0	3	1	2	0	0	0	6
94 6	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	3
95 7	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
96 8	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2
97 9	0	0	0	0	0	2	1	0	1	0	0	0	4
98 10	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	4
99 11	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
2000 12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
01 13	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
02 14	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	3
03 15	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	2
04 16	0	0	0	0	0	2	1	3	2	2	0	0	10
05 17	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	3
06 18	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
07 19	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	3
08 20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
09 21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
2010 22	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
11 23	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	3
12 24	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2
13 25	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
14 26	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2	0	0	4
15 27	0	0	0	0	0	0	2	1	1	0	0	0	4
16 28	0	0	0	0	0	0	0	4	2	0	0	0	6
17 29	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	4
18 30	0	0	0	0	0	0	1	2	2	0	0	0	5
19 R.1	0	0	0	0	0	0	1	2	1	1	0	0	5
2020 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21 3	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	3
22 4	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	3
23 5	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
24 6	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
25 7	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	3
平年値 1991-2020	-	-	-	-	0.0	0.2	0.6	0.9	1.0	0.3	-	-	3.0

台風の日本への上陸:台風の中心が北海道・本州・四国・九州の海岸線に達した場合をいう。

小さい島や半島を横切って短時間で再び海に出る場合は通過とする。

資料2-1-5 令和7年(2025年)に発生した台風の一覧表

台風 番号	台風名	熱帯低気圧の発生			台 風 の 発 生			台 風 期 間 中 の 最 低 (大) 値							熱帯低気圧または温帯 低気圧となった日時と位置				消滅前の最後に確認され た日時と位置、又は域外 に出た最初の日時		
		月 日 時	北緯	東経	月 日 時	北緯	東経	海 面 気 圧		風 速		強 風 半 径			月 日 時	北緯	東経	種類	月 日 時	北緯	東経
								月 日 時	hPa	月 日 時	m/s	月 日 時	方位 : km								
1	WUTIP	6 10 21	15.0	114.2	6 11 21	16.6	111.3	6 14 09	980	6 14 09	30	6 12 15	N:390 S:330	6 15 03	23.3	111.3	TD	6 16 03	28.1	120.7	
2	SEPAT	6 21 15	20.9	147.0	6 23 15	25.8	144.0	6 24 15	1004	6 24 15	18	6 24 03	NE:280 SW:110	6 24 21	30.6	140.1	TD	6 26 21	38.6	145.9	
3	MUN	7 1 09	21.8	148.8	7 2 15	25.6	146.8	7 7 03	990	7 7 03	25	7 7 15	SE:280 NW:170	7 8 09	39.0	149.0	L	7 11 09	域外		
4	DANAS	7 3 09	19.6	122.4	7 4 21	19.3	117.8	7 6 21	965	7 6 21	40	7 7 15	SE:440 NW:220	7 9 09	27.0	119.0	TD	7 11 09	22.5	113.6	
5	NARI	7 10 03	19.2	141.6	7 13 03	25.2	142.2	7 14 18	990	7 14 12	23	7 13 21	SE:650 NW:330	7 15 09	45.0	145.1	L	7 17 09	域外		
6	WIPHA	7 16 15	14.1	130.7	7 18 09	17.4	124.1	7 22 03	975	7 20 15	30	7 18 21	E:650 W:330	7 22 21	19.9	104.3	TD	7 23 03	19.9	102.4	
7	FRANCISCO	7 22 15	17.6	132.9	7 23 09	20.4	130.4	7 25 03	990	7 25 03	20	7 25 03	E:650 W:330	7 25 15	26.5	122.7	TD	7 26 21	26.4	119.6	
8	CO-MAY	7 22 09	19.7	124.2	7 23 21	17.7	118.8	7 24 21	975	7 24 21	30	7 30 15	NE:500 SW:280	7 31 09	31.5	119.5	TD	8 3 15	34.8	122.5	
9	KROSA	7 23 21	12.3	145.0	7 24 09	13.3	143.7	7 28 18	965	7 28 12	40	7 27 15	SE:850 NW:560	8 4 15	43.0	166.0	L	8 5 15	域外		
10	BAILU	7 31 03	26.0	129.6	8 3 03	31.1	140.3	8 3 15	994	8 5 15	18	8 4 21	S:330 N:280	8 5 21	39.2	159.2	L	8 7 21	域外		
11	PODUL	8 6 03	19.1	149.0	8 7 21	18.8	147.0	8 13 09	960	8 13 09	40	8 13 15	390	8 14 09	24.8	114.4	TD	8 15 09	26.3	108.6	
12	LINGLING	8 17 15	21.3	127.0	8 20 21	31.1	128.5	8 21 17	994	8 21 17	23	8 21 18	S:190 N:110	8 21 21	31.6	130.8	TD	8 23 09	33.0	134.9	
13	KAJIKI	8 21 15	15.4	126.4	8 23 03	17.3	117.8	8 25 09	950	8 25 09	40	8 25 09	E:390 W:330	8 26 15	19.1	102.1	TD	8 27 03	20.3	100.6	
14	NONGFA	8 28 03	14.8	116.8	8 29 15	16.4	112.2	8 30 15	996	8 30 15	20	8 30 15	220	8 31 03	17.8	102.2	TD	8 31 03	17.8	102.2	
15	PEIPAH	9 2 21	20.8	132.4	9 4 03	28.5	130.9	9 5 21	992	9 5 21	23	9 5 21	S:500 N:330	9 6 03	35.5	146.2	L	9 10 15	域外		
16	TAPAH	9 6 03	17.6	117.9	9 6 21	18.0	115.2	9 8 09	980	9 8 09	30	9 8 09	SE:390 NW:220	9 8 21	23.3	111.2	TD	9 9 03	24.5	110.0	
17	MITAG	9 15 21	13.4	125.5	9 17 03	15.9	122.4	9 19 15	992	9 19 15	25	9 19 15	E:410 W:220	9 20 03	23.2	114.3	TD	9 21 03	23.7	112.1	
18	RAGASA	9 17 03	13.2	137.7	9 19 03	15.8	132.2	9 22 21	905	9 22 21	55	9 22 03	E:600 W:500	9 25 15	21.8	107.3	TD	9 25 21	21.8	106.3	
19	NEOGURI	9 17 21	22.8	166.2	9 18 15	22.8	164.2	9 21 15	925	9 21 15	50	9 26 15	390	9 29 09	42.2	172.6	L	9 30 03	域外		
20	BUALOI	9 23 03	11.3	137.3	9 23 21	10.2	134.4	9 28 15	975	9 28 15	35	9 25 09	500	9 29 21	20.4	102.1	TD	9 30 09	域外		
21	MATMO	10 1 03	13.7	132.9	10 2 21	15.6	124.9	10 5 15	975	10 5 15	35	10 4 21	NE:440 SW:280	10 6 15	22.1	106.6	TD	10 6 15	22.1	106.6	
22	HALONG	10 3 09	20.1	147.4	10 4 15	24.4	143.6	10 8 15	935	10 8 15	50	10 11 03	500	10 11 09	37.5	172.0	L	10 11 21	域外		
23	NAKRI	10 6 21	13.2	147.4	10 8 09	17.8	138.6	10 14 15	970	10 13 21	35	10 14 21	S:390 N:280	10 15 03	35.9	160.7	L	10 16 15	域外		
24	FENGSHEN	10 15 21	13.1	139.7	10 18 03	12.9	127.4	10 22 09	990	10 22 09	25	10 22 09	NW:560 SE:330	10 23 09	16.1	108.7	TD	10 23 09	16.1	108.7	
25	KALMAEGI	10 31 21	7.9	140.5	11 1 21	10.4	137.1	11 6 15	950	11 6 15	45	11 6 15	440	11 7 09	14.7	106.3	TD	11 8 03	16.1	103.2	
26	FUNG-WONG	11 4 15	8.3	144.8	11 6 09	9.5	141.0	11 9 15	935	11 9 15	50	11 9 03	NE:800 SW:560	11 13 09	25.1	122.9	L	11 14 03	26.2	130.0	
27	KOTO	11 23 21	7.4	131.6	11 25 21	11.0	120.2	11 27 09	970	11 27 09	35	11 28 21	NW:440 SE:220	12 1 09	14.7	111.6	TD	12 3 21	12.6	108.9	

表中の日はすべて日本時(JST)。

「台風期間中の最低(大)値」の起時は、最低(大)となった最後の時刻である。

(但し、風速はノットで解析し、5m/s単位に換算、強風半径は海里で解析し、10km単位に換算しているため、必ずしもこれに当てはまらない事がある。)

強風半径とは、風速15 m/s以上の風が吹いているか、吹く可能性がある範囲の半径。

種類欄の「TD」は熱帯低気圧、「L」は温帯低気圧を表す。

域外とは、東経180°より東側、東経100°より西側、又は北緯60°より北側の領域。

2-2 令和7年(2025年)に日本に影響した主な台風

日本に影響*した主な台風について以下に概要を示す。

*ここでは6時間ごとのベストトラックを用いた判定で台風の中心が国内のいずれかの気象官署等から500km 以内に入った場合をいう。

(1) 台風第2号(2502 SEPAT)

6月21日15時に小笠原諸島近海で発生した熱帯低気圧は北西へ進み、23日15時に台風第2号となって最大勢力となった。台風は、24日21時に八丈島の南で熱帯低気圧に変わり、次第に進路を北東に変えた後、27日03時に日本の東で消滅した。

(2) 台風第3号(2503 MUN)

7月1日09時に南鳥島の南西で発生した熱帯低気圧は北北西へ進み、2日15時に小笠原諸島近海で台風第3号となり、進路を北に変えた。台風は次第に進路を東に変えながら日本の東を進み、6日15時に同海域で最大勢力となった。その後は北に進み、速度を速めながら次第に進路を北東に変えて、8日09時に同海域で温帯低気圧に変わった。温帯低気圧はさらに北東に進んだ後、東に進路を変え、アリューシャンの南で11日09時前に東経180度を越えた。

(3) 台風第4号(2504 DANAS)

7月3日09時にバシー海峡で発生した熱帯低気圧は北西へ進んだ後、西に進んだ。熱帯低気圧は、4日21時に南シナ海で台風第4号となり、ゆっくりと北に進んだ。台風は、北西に進路を変え、6日21時に同海域で最大勢力となった後、7日03時に台湾に上陸し、次第に勢力を弱めた。その後、進路を西に変え、9日03時に華中に再上陸し、同日09時に同地域で熱帯低気圧に変わった後、11日15時に華南で消滅した。

(4) 台風第5号(2505 NARI)

7月10日03時にマリアナ諸島近海で発生した熱帯低気圧は北北西へ進み、進路を東に変えた後、13日03時に小笠原諸島近海で台風第5号となった。台風は、同日21時に日本の東で最大勢力となった後、15日02時頃に北海道えりも町付近に上陸した。その後、オホーツク海へと進み、同日09時に温帯低気圧に変わった。温帯低気圧は、次第に進路を東に変え、17日09時前に東経180度を越えた。

(5) 台風第7号(2507 FRANCISCO)

7月22日15時にフィリピンの東で発生した熱帯低気圧は北西に進み、23日09時に日本の南で台風第7号となった。台風は北西に進み続け、24日21時に東シナ海で最大勢力となった。その後進路を西に変え、25日15時に同海域で熱帯低気圧に変わり、27日03時に同海域で消滅した。

(6) 台風第8号(2508 CO-MAY)

7月22日09時にルソン島の北東で発生した熱帯低気圧は西南西へ進み、23日21時にルソン島の西で台風第8号となった。台風は次第に進路を東に変え、24日21時に同海域で最大勢力となった後、進路を北北東に変えて速度を速めた。その後、26日03時に沖縄の南で熱帯低気圧に変わり、進路を東に変え、27日15時に沖縄の東

で再び台風となった。台風は、進路を西に変え、28日15時過ぎに沖縄県沖縄本島北部を通過した後に進路を北西に変え、30日15時に華中に上陸した。その後、台風は西北西に進み、31日09時には同地域で熱帯低気圧に変わった。熱帯低気圧は、進路を北東に変え、8月3日21時に黄海で消滅した。

(7) 台風第9号(2509 KROSA)

7月23日21時にマリアナ諸島近海で発生した熱帯低気圧は北西へ進み、24日09時に同海域で台風第9号となった。台風は次第に速度を緩めながら北へ進んで27日09時に小笠原諸島近海で最大勢力となり、同海域でほとんど停滞した。その後、北に進み、次第に進路を北東に変え、8月4日15時に日本のはるか東で温帯低気圧に変わった。温帯低気圧は、アリューシャンの南で5日15時前に東経180度を越えた。

(8) 台風第10号(2510 BAILU)

7月31日03時に沖縄の南で発生した熱帯低気圧は南東へ進み、次第に進路を北東に変えた後、8月3日03時に八丈島近海で台風第10号となった。台風は、同日15時に日本の東で最大勢力となり、東北東に進んだ。その後、5日21時に日本のはるか東で温帯低気圧に変わり、北東に進んで7日21時前に東経180度を越えた。

(9) 台風第11号(2511 PODUL)

8月6日03時にマリアナ諸島近海で発生した熱帯低気圧は、ゆっくりと南へ進んだ後、西へ進んだ。その後、北西に進路を変え、7日21時に同海域で台風第11号となった。台風は、日本の南を西に進んで沖縄の南を通った後、13日09時に台湾の東で最大勢力となった。その後、西北西に進路を変えて台湾に上陸し、台湾海峡を通過して華南に再上陸した。台風は、14日09時に同地域で熱帯低気圧に変わり、西北西に進んで15日15時に消滅した。

(10) 台風第12号(2512 LINGLING)

8月17日15時に沖縄の南で発生した熱帯低気圧は反時計回りに同海域を移動した後、北へ進んだ。熱帯低気圧は、20日21時に東シナ海で台風第12号となり、次第に進路を東に変え、21日09時に同海域で最大勢力となった。台風は、21日17時過ぎに鹿児島県日置市付近に上陸した後、九州南部を横断し、同日21時には鹿児島県で熱帯低気圧に変わった。その後、熱帯低気圧は北東へ進み、23日15時に日本の南で消滅した。

(11) 台風第15号(2515 PEIPAH)

9月2日21時に日本の南で発生した熱帯低気圧は北北東へ進み、次第に進路を北北西に変えた後、4日03時に奄美大島の東で台風第15号となった。台風は、進路を北北東に変えた後、5日01時半頃に愛媛県愛南町付近に上陸した。その後東北東に進み、同日06時頃に高知県室戸市付近を通過した。台風は、同日08時過ぎに和歌山県北部に再上陸した後、同日12時過ぎに愛知県豊橋市付近に再上陸した。その後、同日14時前に静岡県伊豆半島を通過し、同日16時半頃に千葉県館山市付近に再上陸した後、日本の東へと進んだ。台風は同日21時に同海域で最大勢力となり、6日03時に同海域で温帯低気圧に変わった。温帯低気圧は、日本のはるか東へと進んだ後、次第に進路を北東に変え、アリューシャンの南で10日15時前に東経180度を越えた。

(12) 台風第22号(2522 HALONG)

10月3日09時に小笠原諸島の南東で発生した熱帯低気圧は北西に進み、4日15時に小笠原諸島近海で台風第22号となった。台風は北西へ進んで8日03時に日本の南で最大勢力となった。その後、次第に進路を北東に変え、非常に強い勢力で伊豆諸島付近を通過し、速度を速めながら日本の東へ進んだ。台風は日本のはるか東を通った後、11日09時にアリューシャンの南で温帯低気圧に変わり、同日21時前に東経180度を越えた。

(13) 台風第23号(2523 NAKRI)

10月6日21時にマリアナ諸島近海で発生した熱帯低気圧は西北西へ進み、8日09時にフィリピンの東で台風第23号となった。台風は、南大東島付近を西に進んだ後、進路を北東に変えて日本の南を進み、13日03時に八丈島付近で最大勢力となった。その後、速度を速めながら北東へ進み、15日03時に日本のはるか東で温帯低気圧となった。温帯低気圧は、さらに速度を速めながら東北東へ進み、16日15時前に東経180度を越えた。

(14) 台風第26号(2526 FUNG-WONG)

11月4日15時にカロリン諸島近海で発生した熱帯低気圧は、西へゆっくりと進んだ後、西北西へ進んだ。熱帯低気圧は、6日09時に同海域で台風第26号となり、9日09時に同海域で最大勢力となった。台風は、北西へと進み、ルソン島を通過して南シナ海を進んだ後、次第に進路を北東に変え、12日21時に台湾南部に上陸した。その後、13日09時に与那国島の北で温帯低気圧に変わった。温帯低気圧は進路を東に変え、14日09時に沖縄の南で消滅した。

資料2-2-1 令和7年(2025年)に日本に影響した台風の概要表(熱帯低気圧、温帯低気圧の期間は除く)

台風 番号	日本への影響 (台風の中心が日本から概ね500km以内に入った場合)			日本への接近 (台風の中心が日本から概ね300km以内に入った場合)			上陸、通過
	月日		地 域	月日		地 域	
	始	終		始	終		
2	6/23	6/24	東海地方、関東地方、甲信地方、伊豆諸島、小笠原諸島	6/23	6/24	伊豆諸島、小笠原諸島	上陸、通過なし。
3	7/2	7/4	伊豆諸島、小笠原諸島				上陸、通過なし。
4	7/6	7/9	沖縄地方	7/7	7/7	沖縄地方	上陸、通過なし。
5	7/13	7/15	東日本、北日本	7/13	7/15	関東地方、甲信地方、伊豆諸島、小笠原諸島、北日本	15日02時頃、北海道えりも町付近に上陸した。
7	7/23	7/25	沖縄・奄美	7/24	7/25	沖縄・奄美	上陸、通過なし。
8	7/25	7/30	沖縄・奄美、九州南部	7/25	7/29	沖縄・奄美	28日15時過ぎ、沖縄県沖縄本島北部を通過した。
9	7/28	8/3	近畿地方、東日本、北日本	7/28	8/2	東海地方、関東地方、甲信地方、伊豆諸島、小笠原諸島、東北地方	上陸、通過なし。
10	8/3	8/4	近畿地方、東海地方、関東地方、甲信地方、伊豆諸島、小笠原諸島、東北地方	8/3	8/3	関東地方、甲信地方、伊豆諸島、小笠原諸島	上陸、通過なし。
11	8/12	8/13	沖縄地方	8/12	8/13	沖縄地方	上陸、通過なし。
12	8/20	8/21	奄美地方、西日本	8/20	8/21	九州南部、九州北部地方、四国地方、	21日17時過ぎ、鹿児島県日置市付近に上陸した。
15	9/4	9/6	沖縄・奄美、西日本、東日本、東北地方	9/4	9/5	沖縄・奄美、西日本、東日本、東北地方	5日01時半頃、愛媛県愛南町付近に上陸した。 5日06時頃、高知県室戸市付近を通過した。 5日08時過ぎ、和歌山県北部に再上陸した。 5日12時過ぎ、愛知県豊橋市付近に再上陸した。 5日14時前、静岡県伊豆半島を通過した。 5日16時半頃、千葉県館山市付近に再上陸した。
22	10/4	10/9	四国地方、近畿地方、東日本、東北地方	10/4	10/9	東海地方、関東地方、甲信地方、伊豆諸島、小笠原諸島	上陸、通過なし。
23	10/9	10/13	沖縄・奄美、西日本、東日本、東北地方	10/10	10/13	沖縄・奄美、九州南部、四国地方、近畿地方、東海地方、関東地方、甲信地方、伊豆諸島、小笠原諸島	上陸、通過なし。
26	11/12	11/13	沖縄地方	11/12	11/13	沖縄地方	上陸、通過なし。

台風の中心がそれぞれの地域のいずれかの気象官署等から500km以内に入った場合を「日本に影響した台風」とした。
台風の中心がそれぞれの地域のいずれかの気象官署等から300km以内に入った場合を「日本に接近した台風」とした。

資料 2-2-2 令和 7 年(2025 年)に発生した台風の経路図(月別)

※1 月、2 月、3 月、4 月、5 月及び 12 月は台風の発生がなかったため掲載していない。
7 月、及び 8 月は 2 枚に分けて掲載している。

